

令和7年度

全国体力・運動能力，運動習慣等調査

鹿児島県結果分析



鹿児島県教育委員会



## 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

### 1 調査の目的

全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、子どもの体力等の状況に鑑み、全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的にスポーツ庁が実施しているものです。

### 2 調査の結果について

本調査結果は、実技調査8項目、及び運動習慣等の質問紙調査による体力等の特定の一部を示したものです。

また、学校の教育活動は、多面的、総合的に行われるものであり、調査結果は、あくまで学校における教育活動の一側面であるので、御留意ください。

## 目 次

○ 県全体の調査結果(公立)	1
1 体格に関する調査結果概要	2
2 実技に関する調査結果概要	4
3 運動習慣等に関する調査結果概要	8
4 生活習慣等に対する調査結果概要	13
5 運動やスポーツ、体育・保健体育の授業に関する調査結果概要	16
6 児童生徒の回答と体力合計点とのクロス集計	22
7 学校質問紙から	25
8 今後の方向性	30

# 県全体の調査結果〔公立〕

## 本県の調査実施状況

### 1 調査の期間

令和7年4月～7月末

### 2 調査の概要

- 調査方法：悉皆調査
- 対象学年：小学校第5学年，特別支援学校小学部第5学年  
中学校第2学年，特別支援学校中学部第2学年  
※ 小・中学校にはそれぞれ義務教育学校を含む。
- 調査事項
  - 児童生徒に関する調査
    - ・ 実技に関する調査：小・中学校ともに8項目の実技調査
      - ① 握力 ②上体起こし ③長座体前屈 ④反復横とび
      - ⑤ 20mシャトルラン（中学校は持久走との選択）
      - ⑥ 50m走 ⑦立ち幅とび ⑧ ボール投げ
    - ・ 運動習慣や生活習慣，運動への興味・関心等に関する調査
  - 学校に対する質問紙調査
    - ・ 子どもの体力・運動能力，運動習慣等の向上に係る取組等に関する調査

### 3 本県調査参加校及び参加児童生徒数

- 小学校：460校 12,914人
- 中学校：216校 12,337人
- 計 682校 25,251人

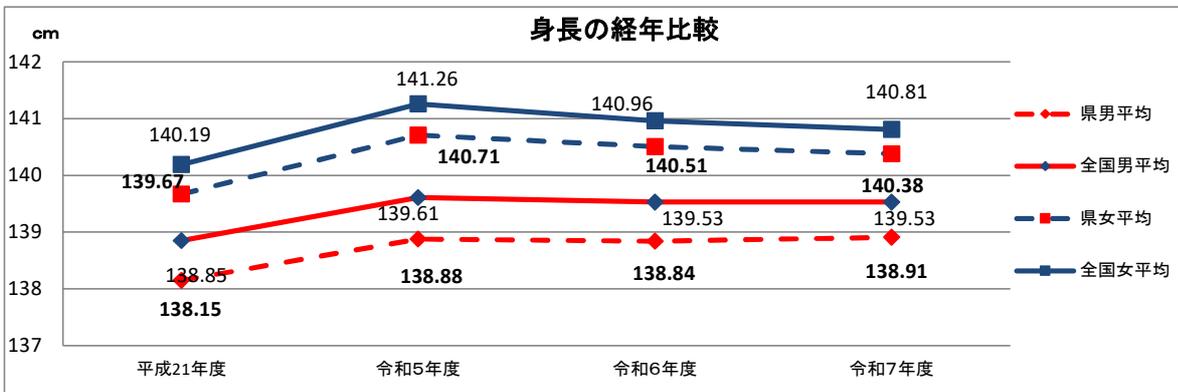
※ 小学校，中学校にはそれぞれ義務教育学校，特別支援学校を含む。

# 1 体格に関する調査結果概要

## (1) 本県の身長(cm)に関する調査の結果

### ア【小学校】

小学校		平成21年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
		県平均	全国平均	県平均の全国平均との差									
小学校	5年男子	138.15	138.85	-0.70	138.88	139.61	-0.73	138.84	139.53	-0.69	138.91	139.53	-0.62
	5年女子	139.67	140.19	-0.52	140.71	141.26	-0.55	140.51	140.96	-0.45	140.38	140.81	-0.43

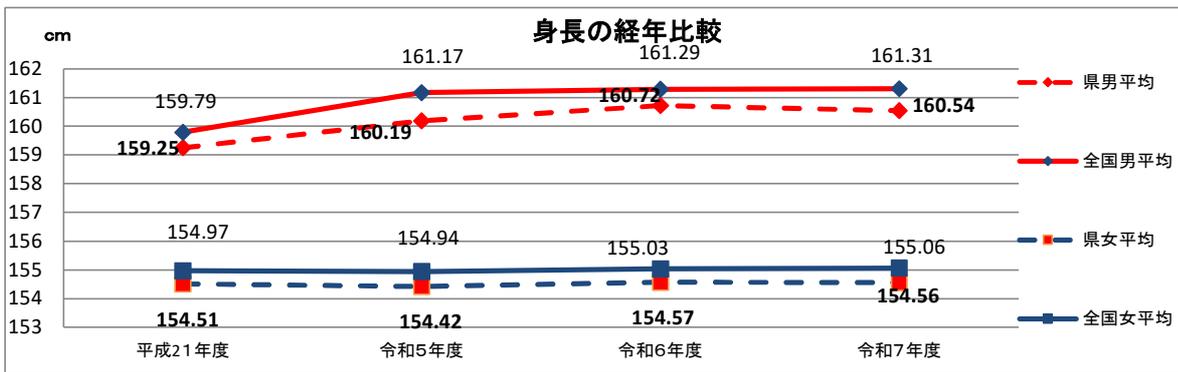


〈現状〉

- 全国平均と比較すると、男女ともに低い状況である。
- 県、全国ともに令和6年度との比較において、男女ともに大きな変化は見られない。
- 県平均と全国平均との差については、これまでと大きな変化は見られず、男女ともに全国平均より低い状況が続いている。

### イ【中学校】

中学校		平成21年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
		県平均	全国平均	県平均の全国平均との差									
中学校	2年男子	159.25	159.79	-0.54	160.19	161.17	-0.98	160.72	161.29	-0.57	160.54	161.31	-0.77
	2年女子	154.51	154.97	-0.46	154.42	154.94	-0.52	154.57	155.03	-0.46	154.56	155.06	-0.50



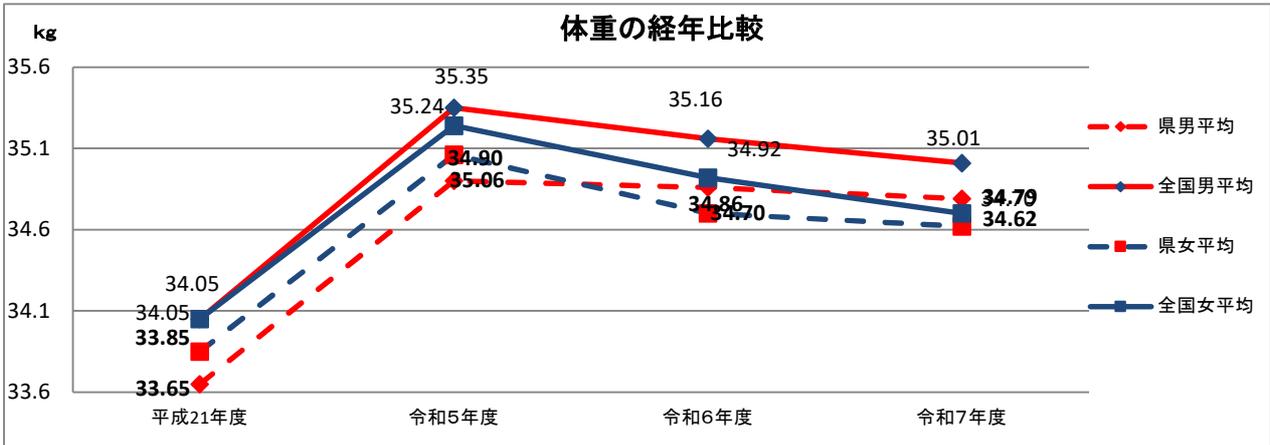
〈現状〉

- 全国平均と比較すると、男女ともに低い状況である。
- 県、全国ともに令和6年度との比較において、男女ともに大きな変化は見られない。
- 県平均と全国平均との差については、これまでと大きな変化は見られず、男女ともに全国平均より低い状況が続いている。

(2) 本県の体重(kg)に関する調査の結果

ア【小学校】

小学校		平成21年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
		県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差
	5年男子	33.65	34.05	-0.40	34.90	35.35	-0.45	34.86	35.16	-0.30	34.79	35.01	-0.22
	5年女子	33.85	34.05	-0.20	35.06	35.24	-0.18	34.70	34.92	-0.22	34.62	34.70	-0.08

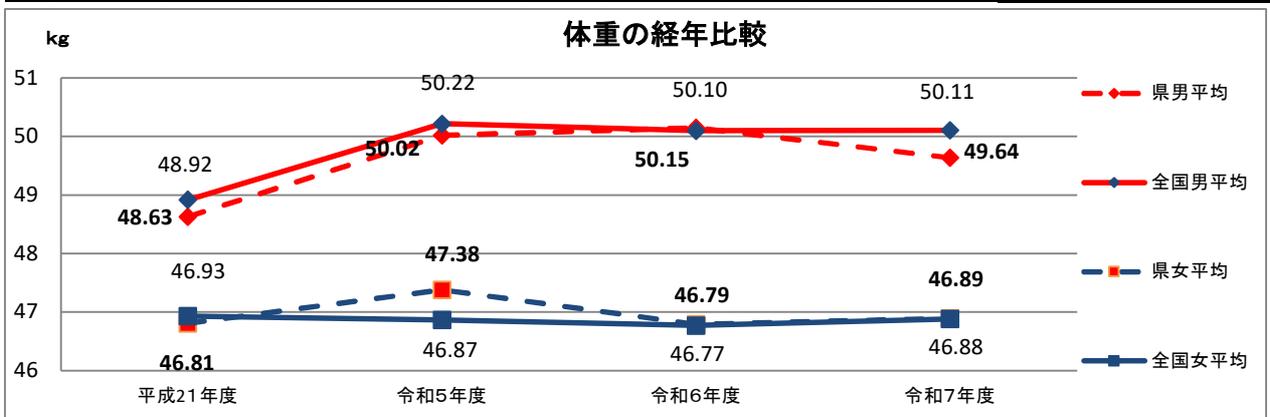


〈現状〉

- 全国平均と比較すると、男女ともに軽い状況である。
- 県、全国ともに令和6年度との比較において、男女ともに大きな変化は見られない。
- 県平均と全国平均との差については、これまでと大きな変化は見られず、男女ともに全国平均より軽い状況が続いている。

イ【中学校】

中学校		平成21年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
		県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差
	2年男子	48.63	48.92	-0.29	50.02	50.22	-0.20	50.15	50.10	0.05	49.64	50.11	-0.47
	2年女子	46.81	46.93	-0.12	47.38	46.87	0.51	46.79	46.77	0.02	46.89	46.88	0.01



〈現状〉

- 全国平均と比較すると、男子は軽く、女子は重い状況である。
- 県、全国ともに令和6年度との比較において、男女ともに大きな変化は見られない。
- 県平均と全国平均との差については、これまでと大きな変化は見られず、男子は軽い状況になり女子は重い状況が続いている。

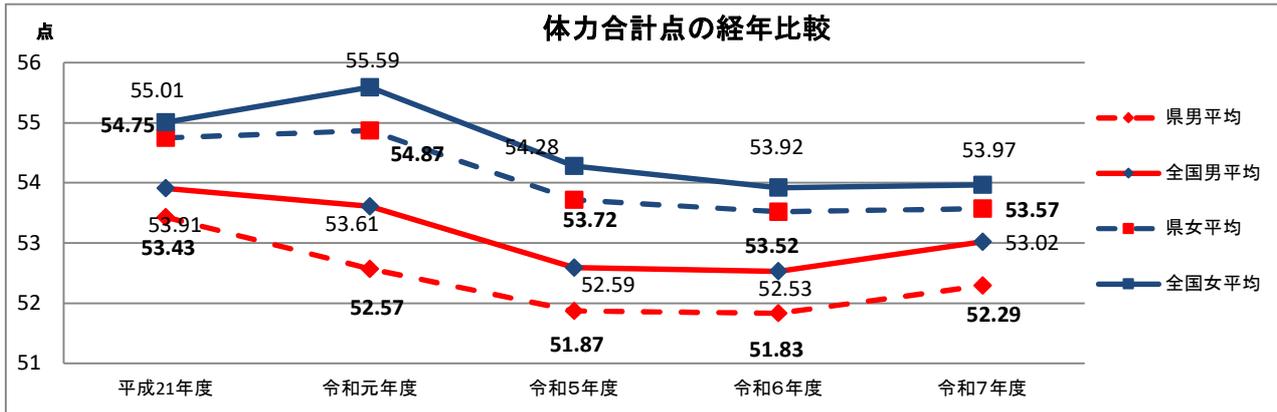
## 2 実技に関する調査結果概要

### (1) 本県の体力合計点に関する調査の結果

#### ア【小学校】

小学校		平成21年度			令和元年度(コロナ前)			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
		県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差
小学校	5年男子	53.43	53.91	-0.48	52.57	53.61	-1.04	51.87	52.59	-0.72	51.83	52.53	-0.70	52.29	53.02	-0.73
	5年女子	54.75	55.01	-0.26	54.87	55.59	-0.72	53.72	54.28	-0.56	53.52	53.92	-0.40	53.57	53.97	-0.40

※ 体力合計点考察コメント(スポーツ庁)  
 ±1点以上:高(低)い ±0.5~1点未満:わずかに高(低)い ±0.5点未満:ほとんど差がない



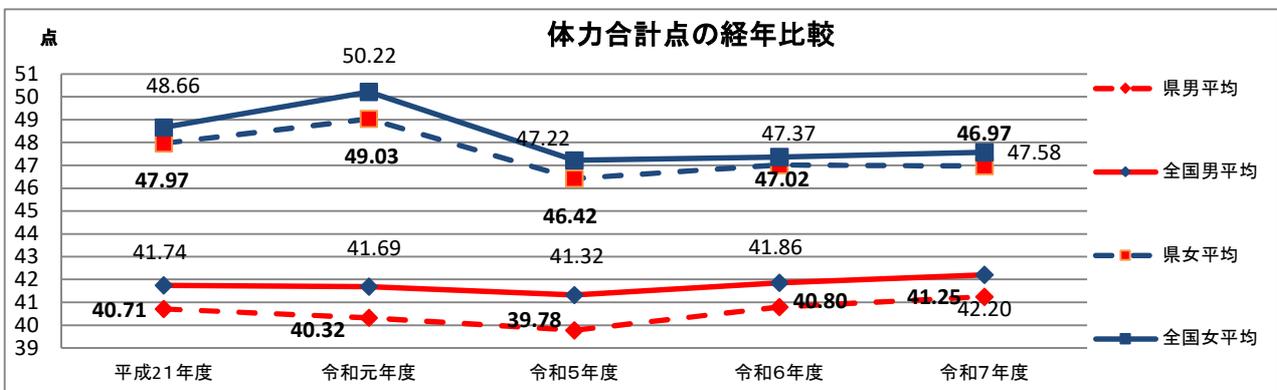
#### 〈現状〉

- 全国平均と比較すると、男子は0.73点、女子は0.4点低い結果になった。
- 令和6年度との比較において、県男子は、0.46点、県女子は、0.05点高くなった。全国男子は0.49点、女子は0.05点高くなった。
- 県平均と全国平均との差については、令和6年度より男子は大きくなっている。

#### イ【中学校】

中学校		平成21年度			令和元年度(コロナ前)			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
		県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差
中学校	2年男子	40.71	41.74	-1.03	40.32	41.69	-1.37	39.78	41.32	-1.54	40.80	41.86	-1.06	41.25	42.20	-0.95
	2年女子	47.97	48.66	-0.69	49.03	50.22	-1.19	46.42	47.22	-0.80	47.02	47.37	-0.35	46.97	47.58	-0.61

※ 体力合計点考察コメント(スポーツ庁)  
 ±1点以上:高(低)い ±0.5~1点未満:わずかに高(低)い ±0.5点未満:ほとんど差がない



#### 〈現状〉

- 全国平均と比較すると、男子は0.95点、女子は0.61点低い結果となった。
- 令和6年度との比較において、県男子は0.45点高くなり、県女子は0.05点低くなった。全国男子は0.34点、全国女子は0.21点高くなった。
- 県平均と全国平均との差については、令和6年度より、男子は縮まり、女子は大きくなっている。

## (2) 体力合計点の度数分布

### 体力合計点の度数分布のグラフについて

※ 体力合計点の総合評価は、実技項目(8項目)の記録を、1点から10点に得点化し、その8項目の合計点をA, B, C, D, Eの段階に区分したものです。

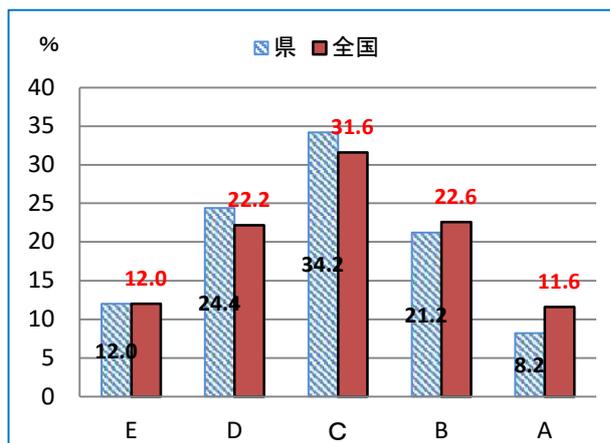
○ 小学校 A:65以上 B:58~64 C:50~57 D:42~49 E:41以下

○ 中学校 A:57以上 B:47~56 C:37~46 D:27~36 E:26以下

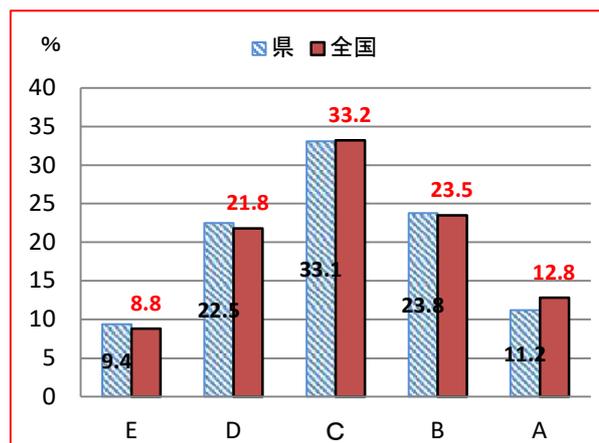
※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示しています。

### ア【小学校】

#### 〔男子〕



#### 〔女子〕

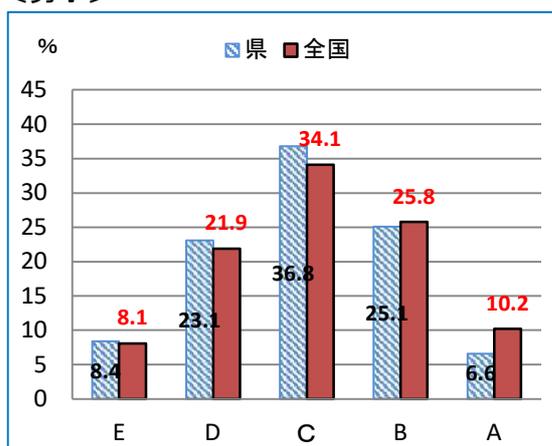


#### 〈現状〉

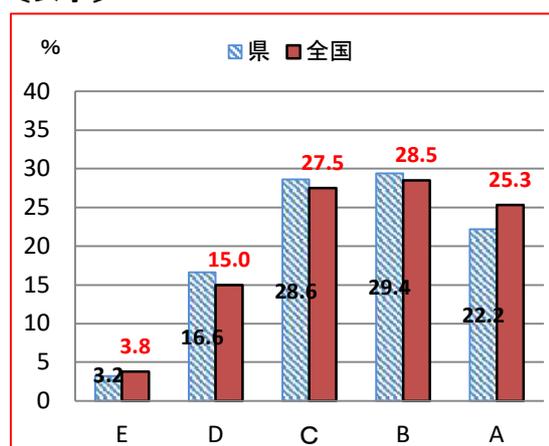
- 全国と比較すると、男子のA+B+C(割合)は、2.2%低い。特に、Aの割合が、3.4%も低い。
- 全国と比較すると、女子のA+B+C(割合)は、1.4%低い。

### イ【中学校】

#### 〔男子〕



#### 〔女子〕



#### 〈現状〉

- 全国と比較すると、男子のA+B+C(割合)は、1.6%低い。特に、Aの割合が、3.4%も低い。
- 全国と比較すると、女子のA+B+C(割合)は、1.1%低い。

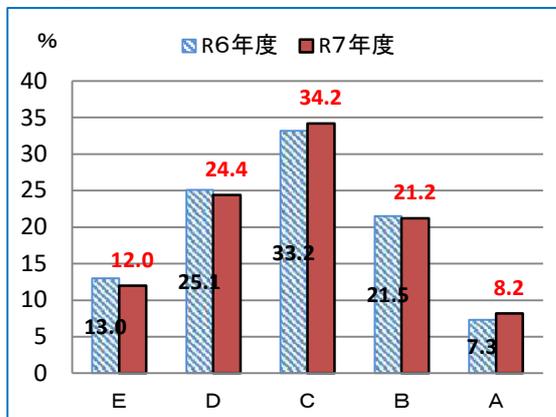
### (3) 体力合計点の度数分布の令和6年度との比較

※ AB-DE値について

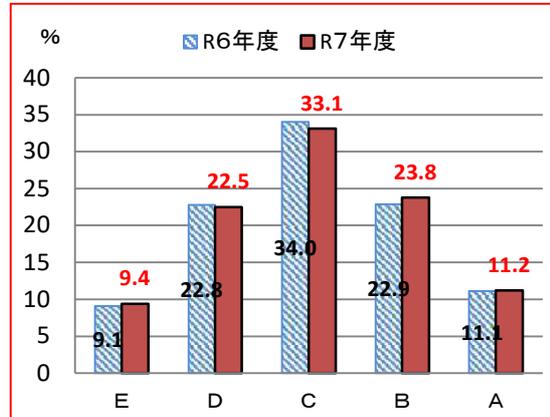
全体的な体力の状況をとらえる指標の1つで、体力合計点Cをはさんで、Cよりも高いABとCよりも低いDEの差をみるものである。

#### ア【小学校】

〔男子〕



〔女子〕



〔男子〕

	E	D	B	A	AB-DE値	増減
R6年度	13.0	25.1	21.5	7.3	-9.3	
R7年度	12.0	24.4	21.2	8.2	-7.0	↑

〔女子〕

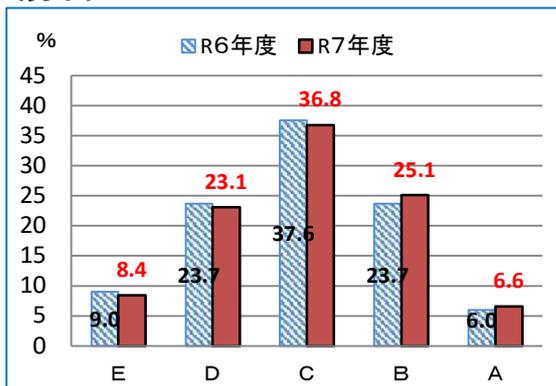
	E	D	B	A	AB-DE値	増減
R6年度	9.1	22.8	22.9	11.1	2.1	
R7年度	9.4	22.5	23.8	11.2	3.1	↑

〈現状〉

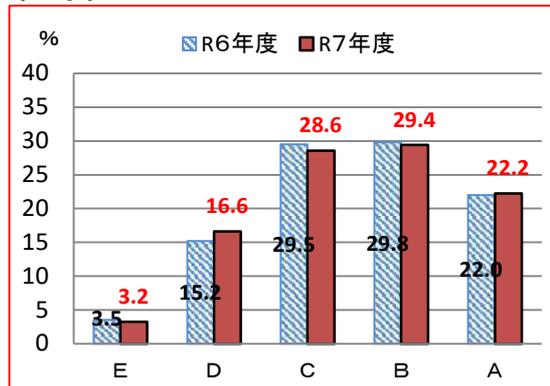
- 男子は、AB-DE値が-7.0ポイントとなり、令和6年度より2.3ポイント高くなっている。
- 女子は、AB-DE値が3.1ポイント高くなっており、令和6年度より1.0ポイント高くなっている。

#### イ【中学校】

〔男子〕



〔女子〕



〔男子〕

	E	D	B	A	AB-DE値	増減
R6年度	9.0	23.7	23.7	6.0	-3.0	
R7年度	8.4	23.1	25.1	6.6	0.2	↑

〔女子〕

	E	D	B	A	AB-DE値	増減
R6年度	3.5	15.2	29.8	22.0	33.1	
R7年度	3.2	16.6	29.4	22.2	31.8	↓

〈現状〉

- 男子は、AB-DE値が0.2ポイントとなり、令和6年度より3.2ポイント高くなっている。
- 女子は、AB-DE値が31.8ポイントとなり、令和6年度より1.3ポイント低くなっている。

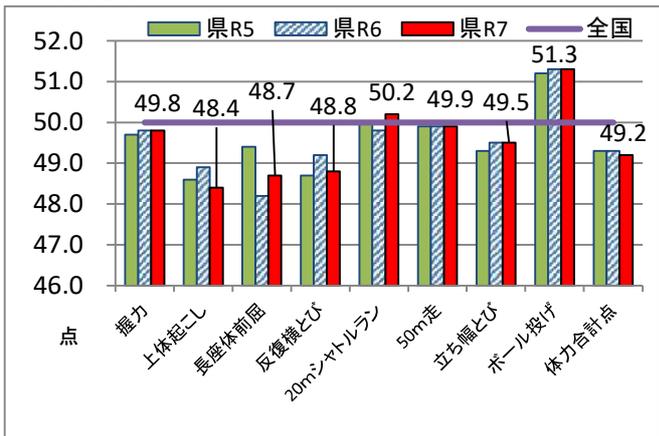
(4) 各実技調査項目のT得点結果について

各実技調査項目のグラフについて

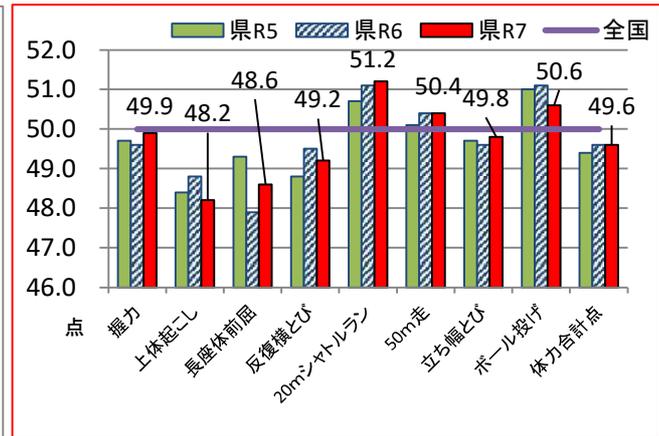
※ 実技調査項目は、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン(中学校は、持久走との選択)、50m走、立ち幅とび、ボール投げの8項目、及び体力合計点のT得点を示したものです。  
 ※ T得点とは、全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較するものです。平均値50点、標準偏差10点の標準得点。「T得点=50+10×(調査結果-平均値)/標準偏差」で算出します。  
 ※ グラフ上の50.0の目盛り線は、全国のT得点を表しています。

ア【小学校】

〔男子〕



〔女子〕

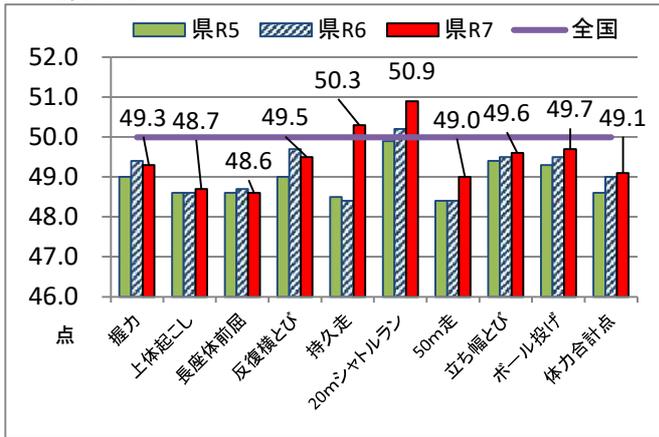


〈現状及び課題〉

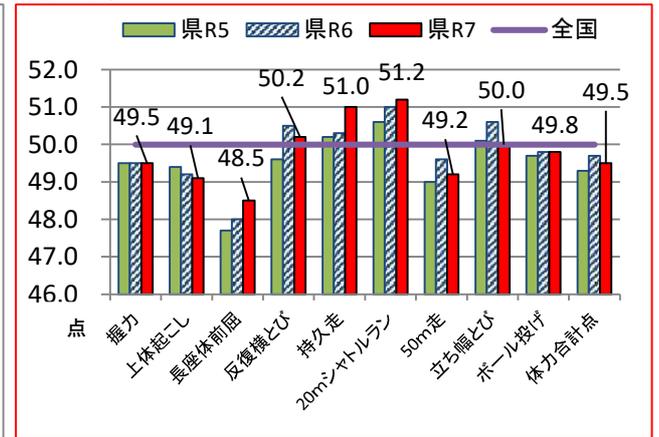
- T得点50以上の項目は、20mシャトルラン(男女)、ボール投げ(男女)、50m走(女子)である。
  - 令和6年度より向上した項目数は、男子は2項目、女子は4項目である。
  - T得点49以下の項目については、男子が3項目、女子が2項目である。上体起こしと長座体前屈に課題がある。
- ※ グラフ内の数値は、令和7年度

イ【中学校】

〔男子〕



〔女子〕



〈現状及び課題〉

- T得点50以上の項目は、持久走(男女)、20mシャトルラン(男女)、反復横跳び、立ち幅跳び(女子)である。
- 令和6年度より向上した項目数は、男子は7項目、女子は3項目である。
- T得点49以下の項目については、男子が2項目、女子が1項目である。上体起こしと長座体前屈に課題がある。

### 3 運動習慣等に関する調査結果概要

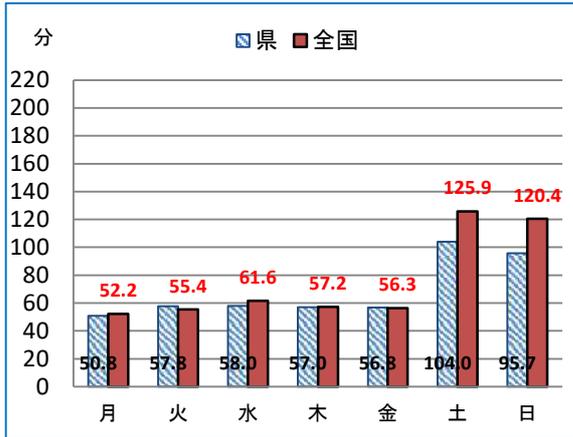
#### 運動時間(曜日別)グラフについて

- ※ 運動時間は、学校の体育の授業(保健体育)の授業以外で運動(体を動かす遊びを含む※注)やスポーツをした時間です。
- ※ 注(体を動かす遊びを含む)の文言は、平成26年度の質問から追加されたものです。
- ※ グラフの横軸は、曜日を示しています。
- ※ グラフの縦軸は、それぞれの運動時間(分)を示しています。

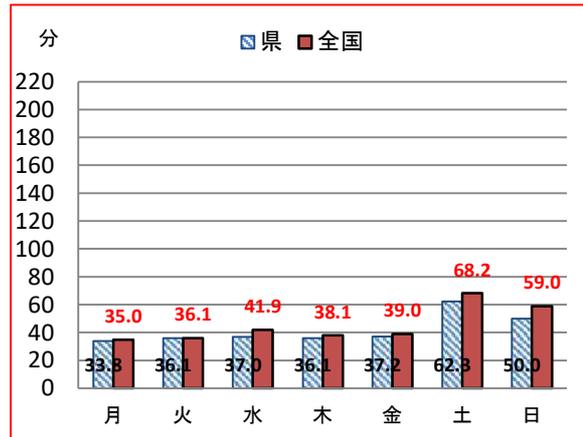
#### (1) 1週間の運動時間に関する全国との比較

##### ア【小学校】

###### 〔男子〕



###### 〔女子〕

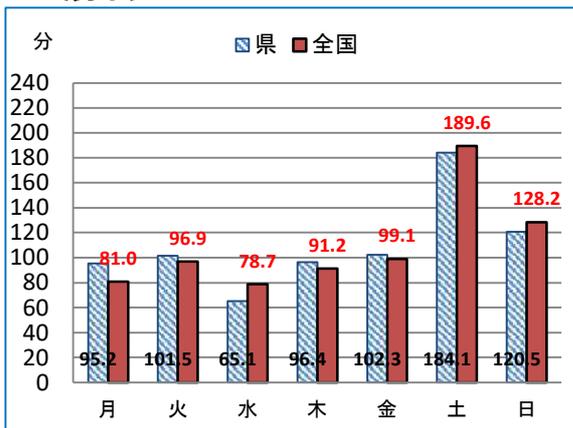


#### 〈現状〉

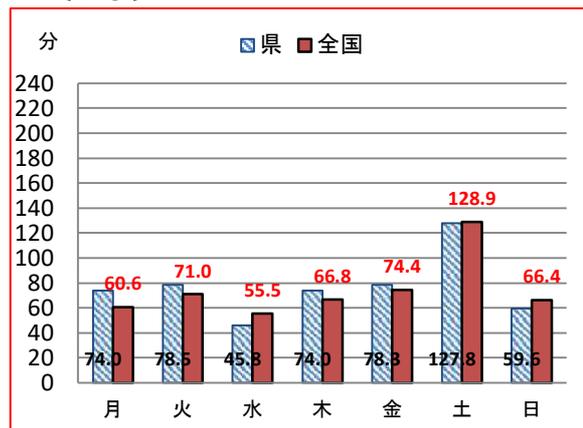
- 男子は、平日は、全国とほとんど差がない。土曜日、日曜日は、全国より短い。
- 女子は、平日、土曜日、日曜日ともに全国より短い。

##### イ【中学校】

###### 〔男子〕



###### 〔女子〕



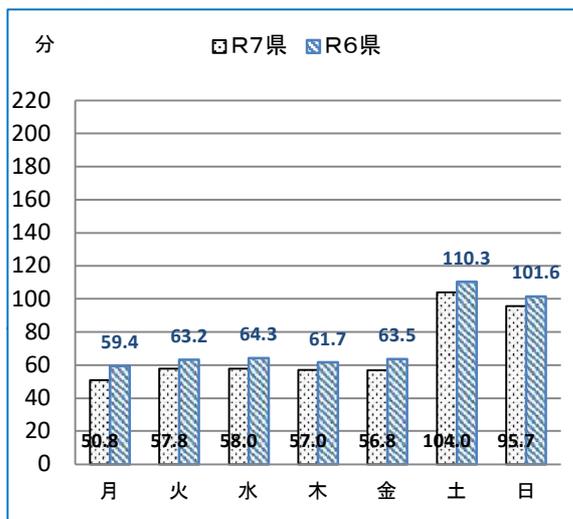
#### 〈現状〉

- 男女ともに水曜日以外の平日は、全国より長い。
- 土曜日、日曜日は、全国より短い。

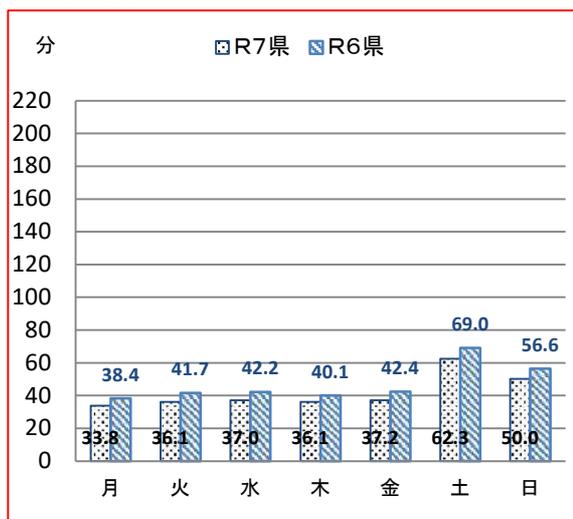
(2) 1週間の運動時間に関する令和6年度との比較

ア【小学校】

〔男子〕



〔女子〕

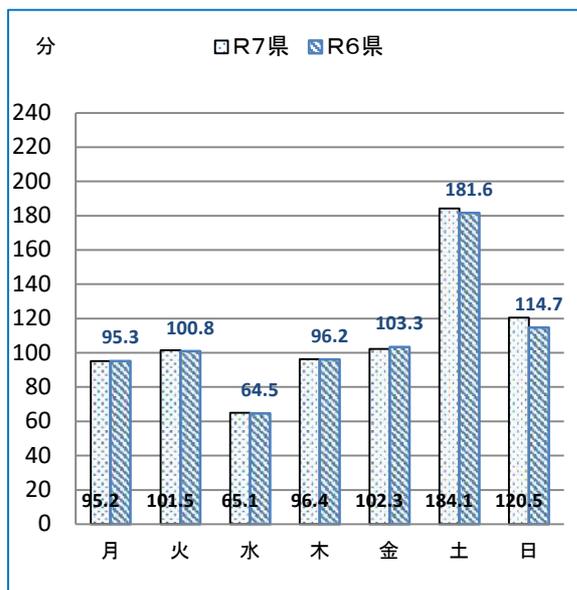


〈現状〉

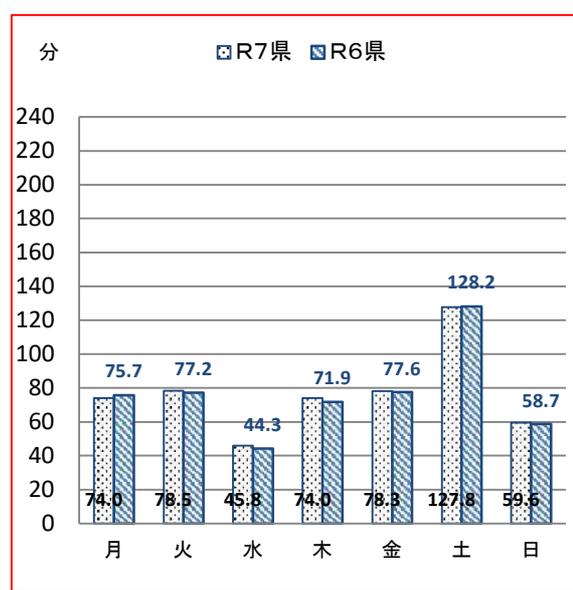
○ 男女ともに、全ての曜日で令和6年度より短い。

イ【中学校】

〔男子〕



〔女子〕

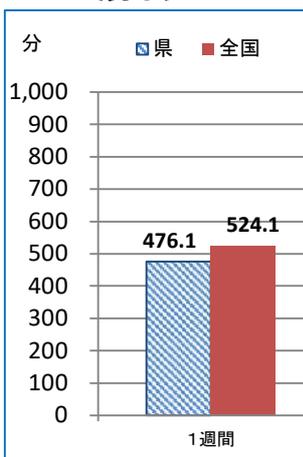


〈現状〉

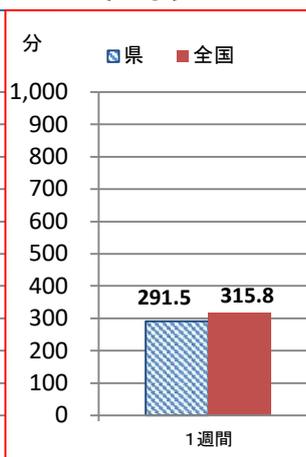
○ 男女ともに、令和6年度とほとんど差がない。

(3) 1週間の総運動時間における全国との比較

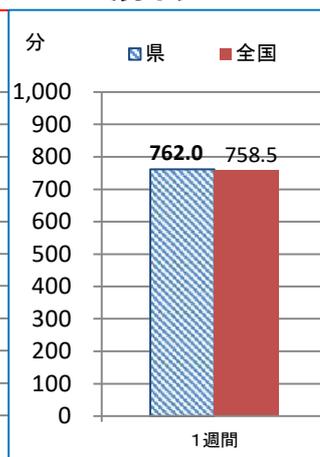
ア【小学校】  
〔男子〕



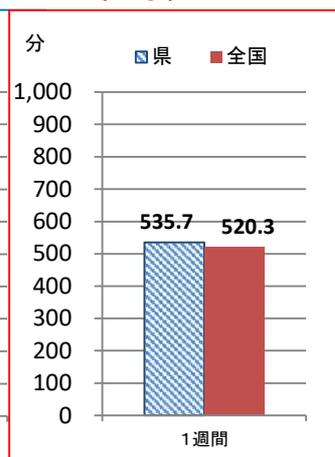
〔女子〕



イ【中学校】  
〔男子〕



〔女子〕

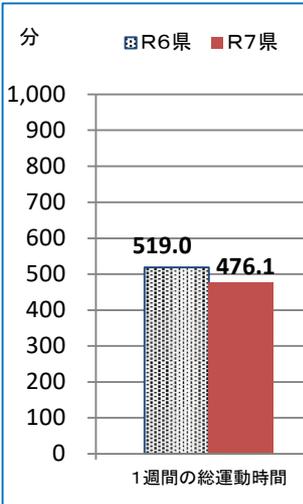


〈現状〉

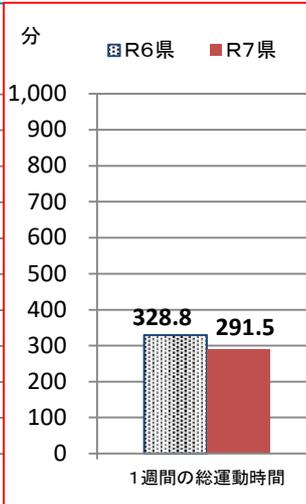
- 小学校男女ともに、一週間の総運動時間は、全国より短い。
- 小学校男子は、全国より48.0分短い、小学校女子は24.3分短い。
- 中学校男女ともに、一週間の総運動時間は、全国より長い。
- 中学校男子は、全国より3.5分長く、中学校女子は15.4分長い。

(4) 1週間の総運動時間の令和6年度との比較

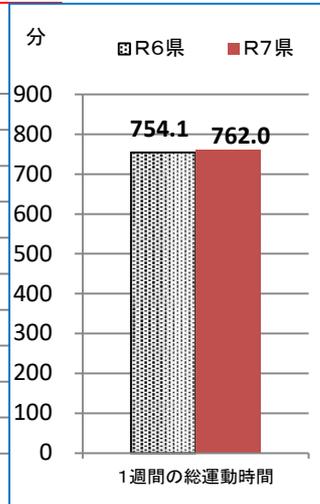
ア【小学校】  
〔男子〕



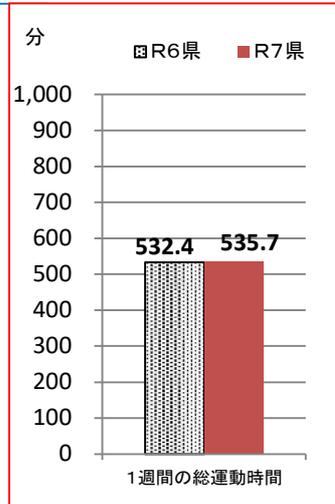
〔女子〕



イ【中学校】  
〔男子〕



〔女子〕



〈現状〉

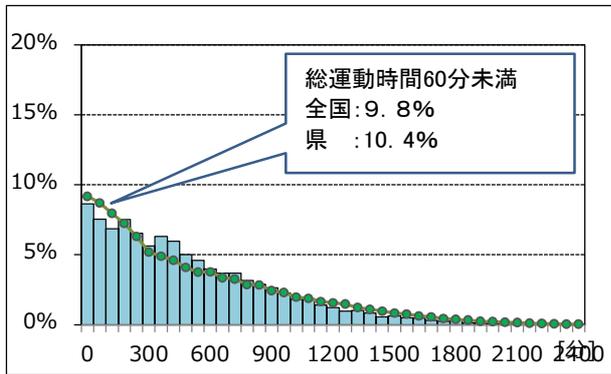
- 小学校男女ともに令和6年度よりも、総運動時間が短くなっている。
- 令和6年度と比較すると、小学校男子は42.89分、女子は37.26分短くなっている。
- 中学校男女ともに令和6年度よりも、総運動時間が長くなっている。
- 令和6年度と比較すると、中学校男子は7.91分、女子は3.31分長くなっている。

(5) 1週間の総運動時間(体育の授業を除く)の分布

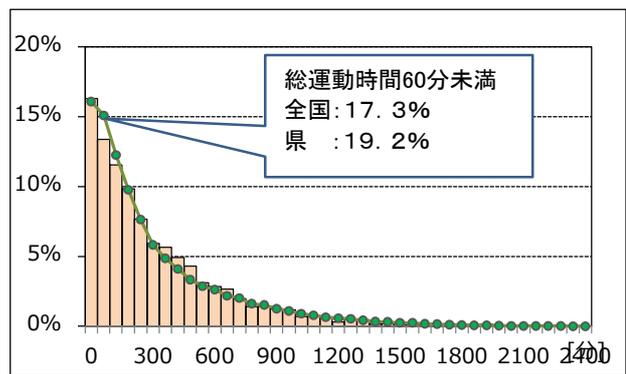
1週間の総運動時間の分布を、横軸を60分の階級、縦軸を割合で表しています。

(0～59分, 60～119分, 120～179分 …………… 2340～2400分)

〔男子〕

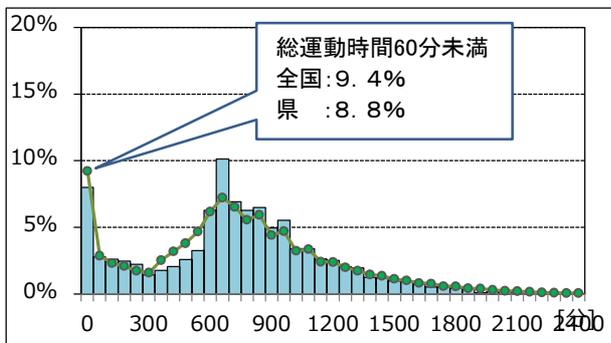


〔女子〕

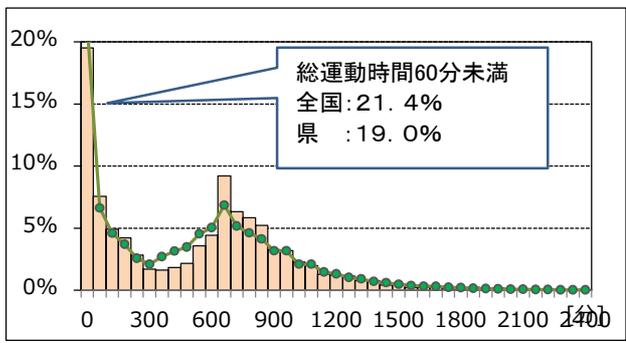


イ【中学校】

〔男子〕



〔女子〕



※折れ線グラフは、全国(公立学校)の分布

校種	男女	全国・県	0分	60分未満	60分～420分未満	0分～420分未満計
小学校 第5学年	男子	県	5.7%	4.7%	43.0%	53.4%
		全国	5.3%	4.5%	42.1%	51.9%
	女子	県	9.2%	9.8%	55.1%	74.1%
		全国	8.7%	8.6%	56.3%	73.6%
中学校 第2学年	男子	県	7.1%	1.7%	14.1%	22.9%
		全国	7.7%	1.7%	14.0%	23.4%
	女子	県	14.4%	4.6%	22.7%	41.7%
		全国	17.1%	4.3%	22.9%	44.3%

〈現状〉

- 本県児童生徒の1週間の総運動時間の分布は、おおむね全国と同じ傾向である。
- 総運動時間420分未満の割合については、小学生男女ともに全国より高く、中学生の男女ともに、全国より低い。

(6) 1週間の総運動時間420分未満及び420分以上の児童生徒の推移

	年度	0分	1～60分未満	60～420分未満	0～420分未満計	420分以上
小学校 第5学年男	R4	3.8%	4.8%	41.1%	49.7%	50.3%
	R5	4.1%	4.6%	41.0%	49.7%	50.3%
	R6	4.5%	4.1%	40.4%	49.0%	51.0%
	R7	5.7%	4.7%	43.0%	53.4%	46.7%
小学校 第5学年女	R4	5.2%	9.6%	54.6%	69.4%	30.6%
	R5	6.1%	10.4%	56.8%	73.3%	26.7%
	R6	6.5%	9.8%	54.0%	70.3%	29.3%
	R7	9.2%	9.8%	55.1%	74.1%	25.9%
中学校 第2学年男	R4	4.8%	2.2%	13.4%	20.4%	79.6%
	R5	8.1%	1.7%	12.2%	22.0%	78.0%
	R6	6.3%	1.7%	13.3%	21.3%	78.7%
	R7	7.1%	1.7%	14.1%	22.9%	77.1%
中学校 第2学年女	R4	9.8%	5.5%	25.7%	41.0%	59.0%
	R5	16.5%	5.4%	20.3%	42.2%	57.8%
	R6	14.0%	5.5%	22.9%	42.4%	57.6%
	R7	14.4%	4.6%	22.7%	41.7%	58.3%

R6年度比減	R6年度比増
--------	--------

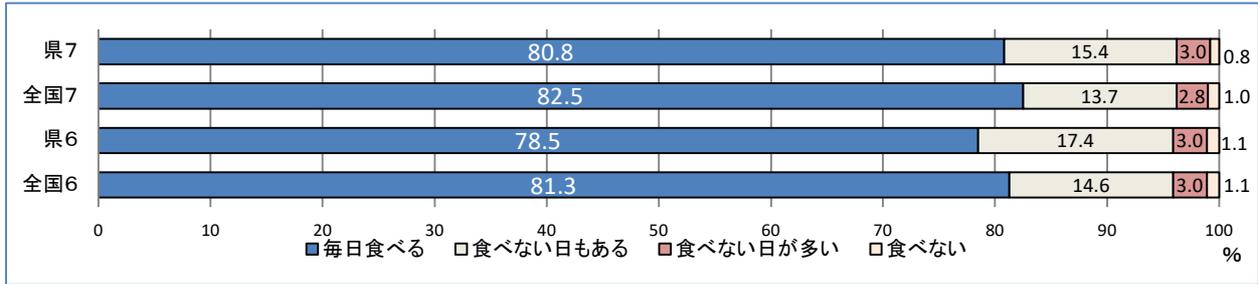
〈現状〉

- 令和6年度と比較すると1週間の総運動時間0～420分未満の割合が、小学校男女・中学校男子は増えて、中学校女子は減っている。総運動時間が420分以上の割合が小学校男女・中学校男子は減って、中学校女子は増えている。
- 1週間の総運動時間が0分の児童生徒が、小学校男女・中学校男女ともに増えている。

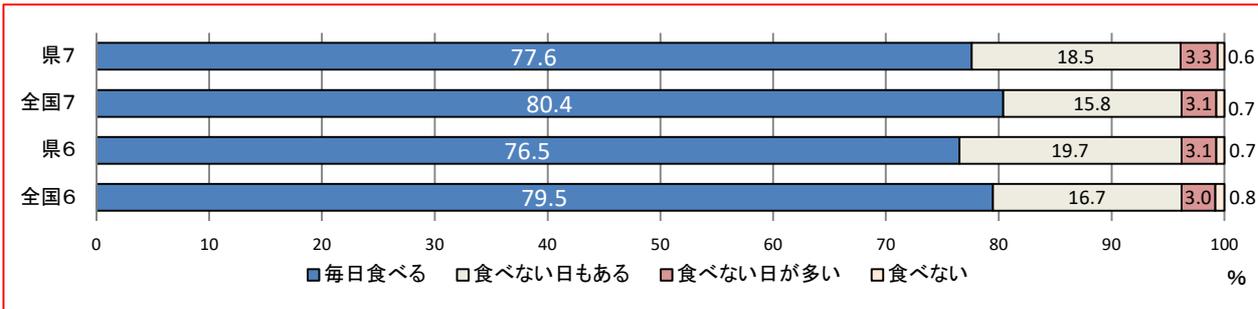
## 4 生活習慣等に関する調査結果概要

### (1) 朝食の摂取状況(学校が休みの日も含める)の結果

#### ア 【小学校】〔男子〕



#### 〔女子〕

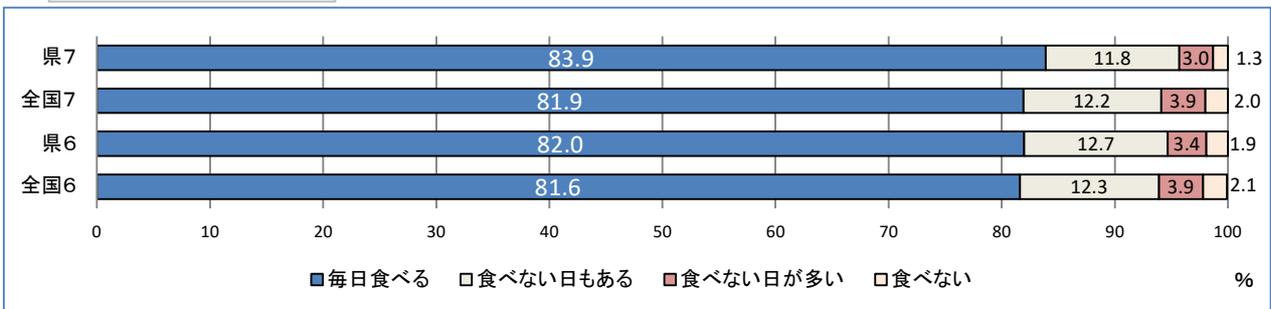


#### 〈現状〉

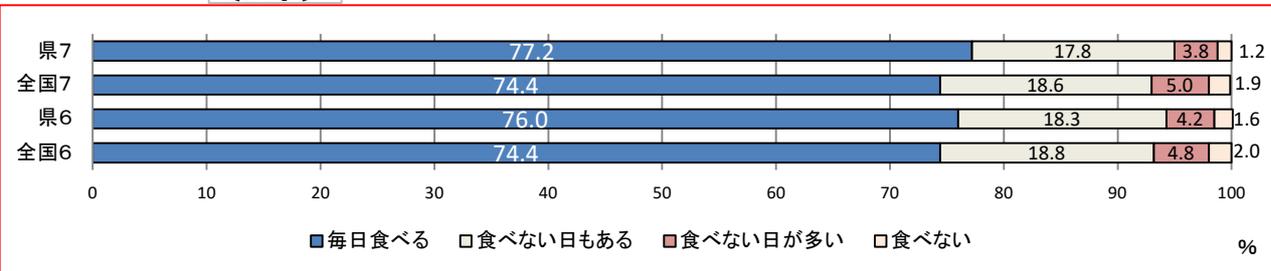
##### 【小学校】

- 全国平均と比較すると朝食を「毎日食べる」と回答した割合は、男子は1.7%、女子は2.8%低い。
- 県の令和6年度平均と比較すると「毎日食べる」と回答した割合は、男子は2.3%、女子は1.1%増えた。

#### イ 【中学校】〔男子〕



#### 〔女子〕



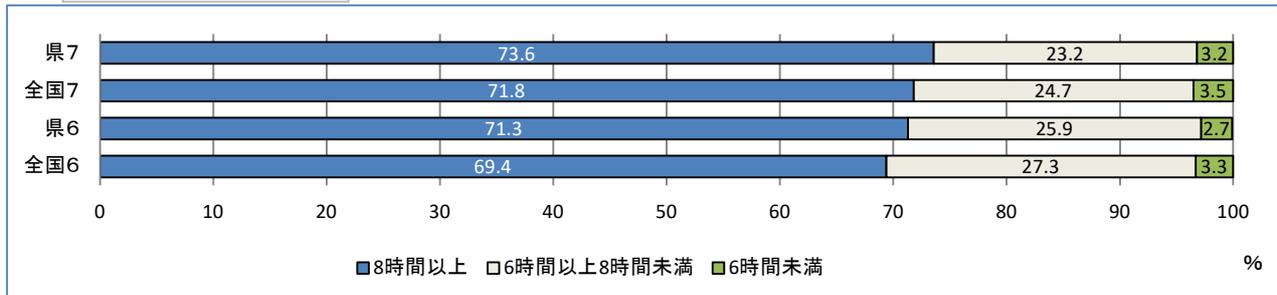
#### 〈現状〉

##### 【中学校】

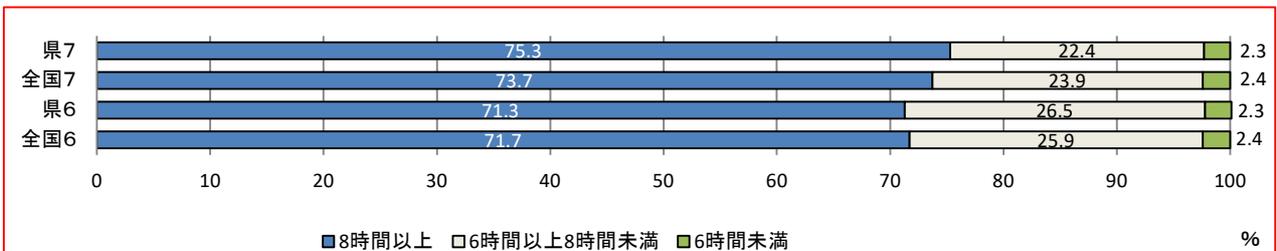
- 全国平均と比較すると朝食を「毎日食べる」と回答した割合は、男子は2.0%、女子は2.8%高い。
- 県の令和6年度平均と比較すると「毎日食べる」と回答した割合は、男子は1.9%増加、女子は1.2%増加した。

## (2) 1日の睡眠時間の結果

### ア【小学校】〔男子〕



### 〔女子〕

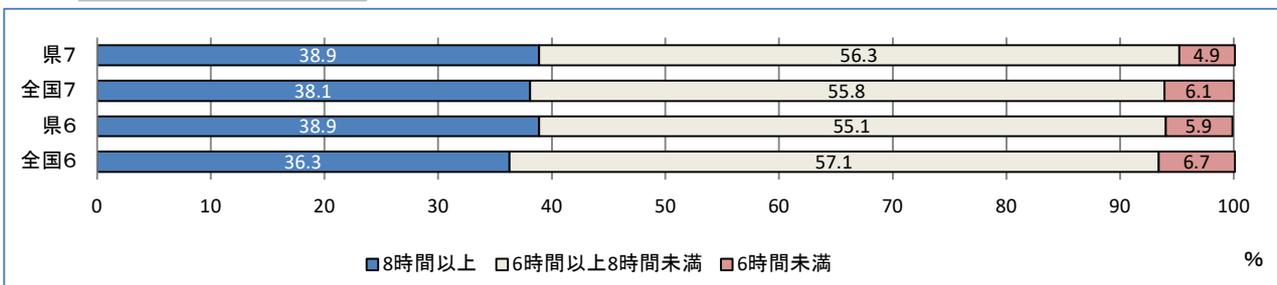


### 〈現状〉

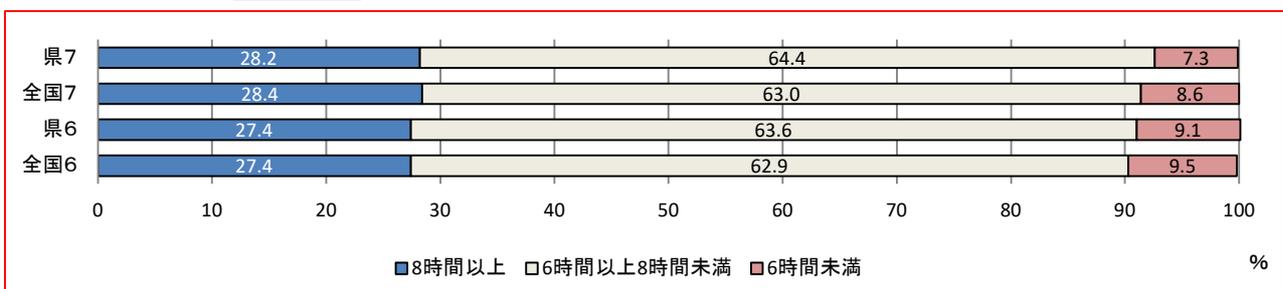
#### 【小学校】

- 全国平均と比較すると、睡眠時間が「8時間以上」と回答した割合は、男子は1.8%、女子は、1.6%高い。
- 県の令和6年度平均と比較すると、「8時間以上」と回答した割合は、男子は2.3%、女子は、4.0%増えた。

### イ【中学校】〔男子〕



### 〔女子〕



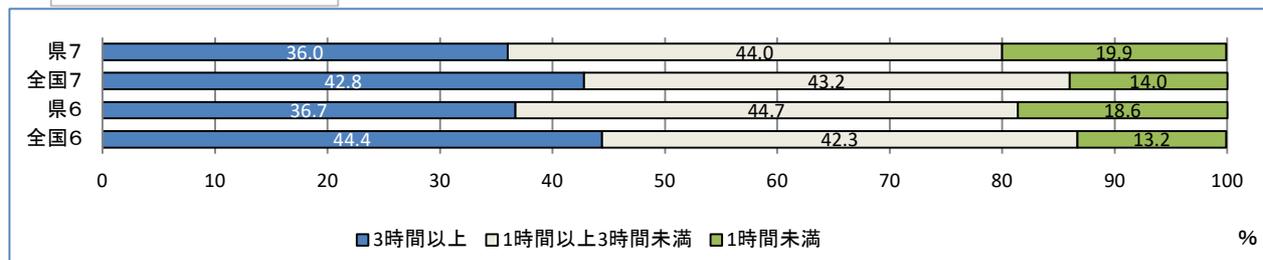
### 〈現状〉

#### 【中学校】

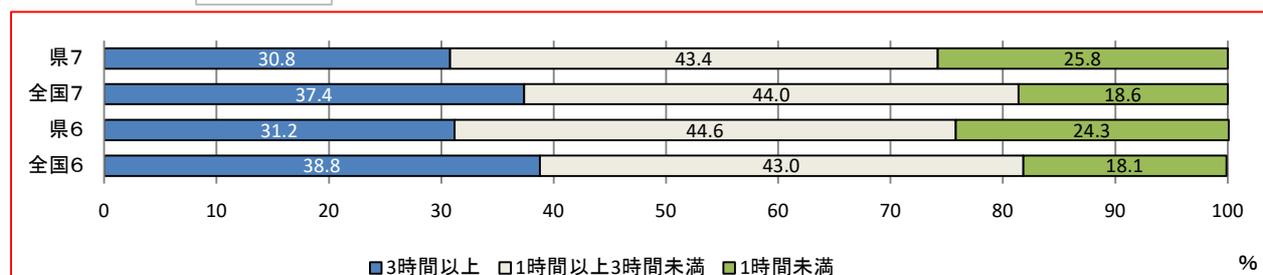
- 全国平均と比較すると、睡眠時間が「8時間以上」と回答した割合は、男子は0.8%高く、女子は0.2%低い。
- 県の令和6年度平均と比較すると、「8時間以上」と回答した割合は、男子は変わらなかった。女子は0.8%増えた。

### (3) 平日のスクリーンタイムの結果

#### ア 【小学校】〔男子〕



#### 〔女子〕

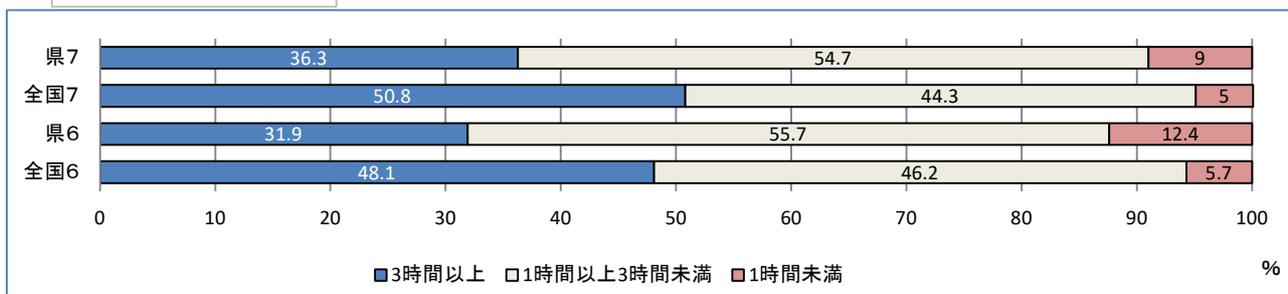


#### 〈現状〉

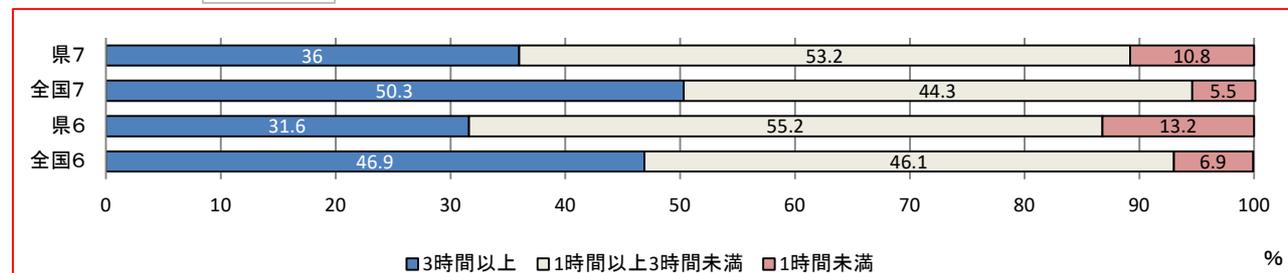
##### 【小学校】

- 全国平均と比較すると、スクリーンタイムが「3時間以上」と回答した割合は、男子は6.8%、女子は6.6%低い。
- 県の令和6年度平均と比較すると、「3時間以上」と回答した割合は、男子は0.7%、女子は、0.4%減った。

#### イ 【中学校】〔男子〕



#### 〔女子〕



#### 〈現状〉

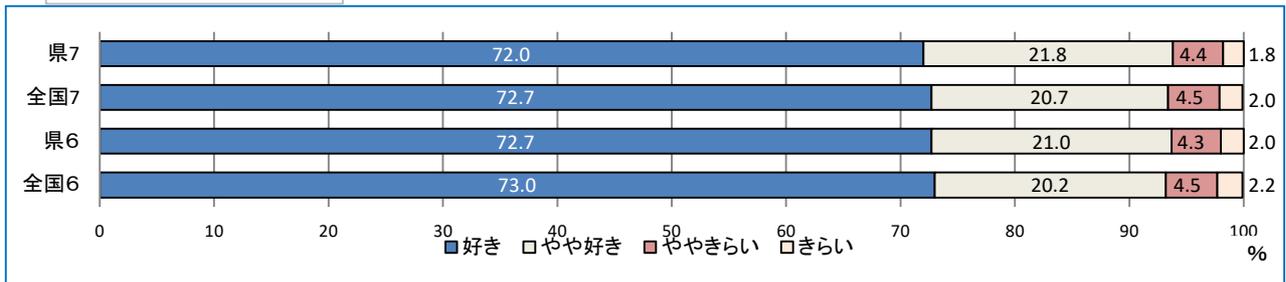
##### 【中学校】

- 全国平均と比較すると、スクリーンタイムが「3時間以上」と回答した割合は、男子は、14.5%、女子は14.3%低い。
- 県の令和6年度平均と比較すると、「3時間以上」と回答した割合は、男女ともには4.4%増えた。

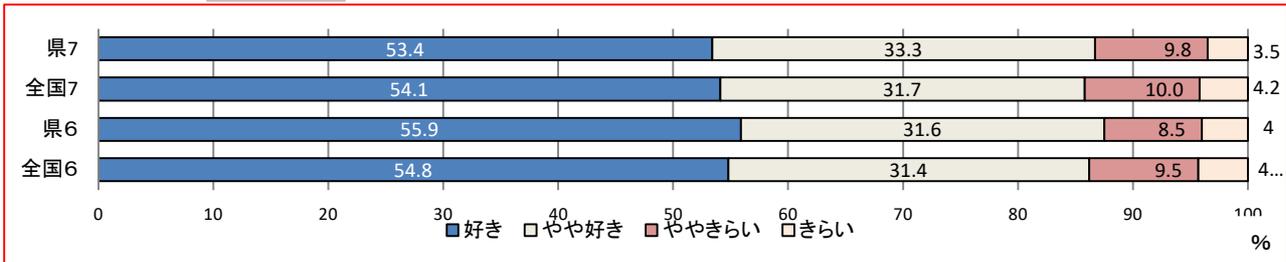
## 5 運動やスポーツ, 体育・保健体育の授業に関する調査結果概要

### (1) 運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることの好き・きらい

#### ア 【小学校】〔男子〕



#### 〔女子〕

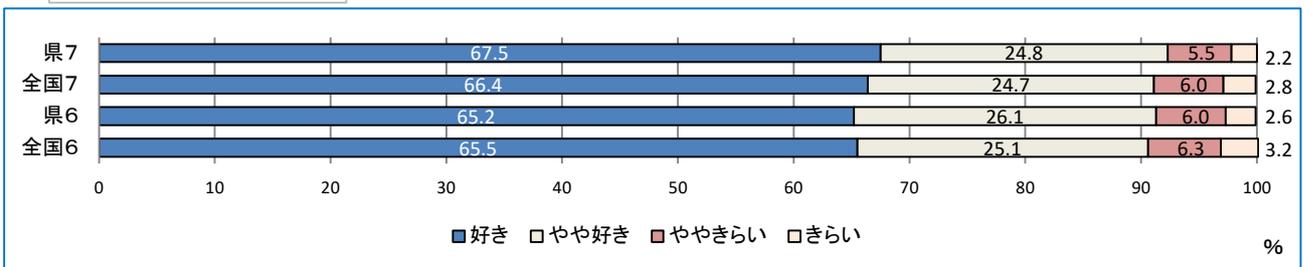


#### 〈現状〉

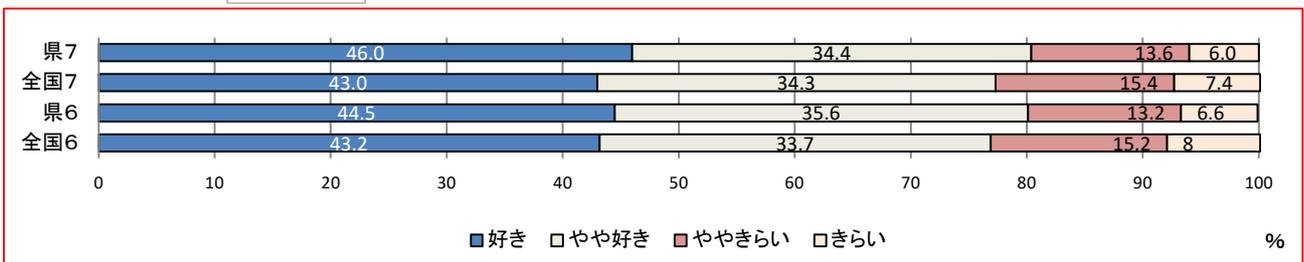
##### 【小学校】

- 全国平均と比較すると、運動やスポーツをすることが「好き」と回答した割合は、男子・女子ともに0.7%低い。
- 県の令和6年度平均と比較すると、運動やスポーツをすることが「好き」と回答した割合は、男子は0.7%、女子は2.5%減った。

#### イ 【中学校】〔男子〕



#### 〔女子〕



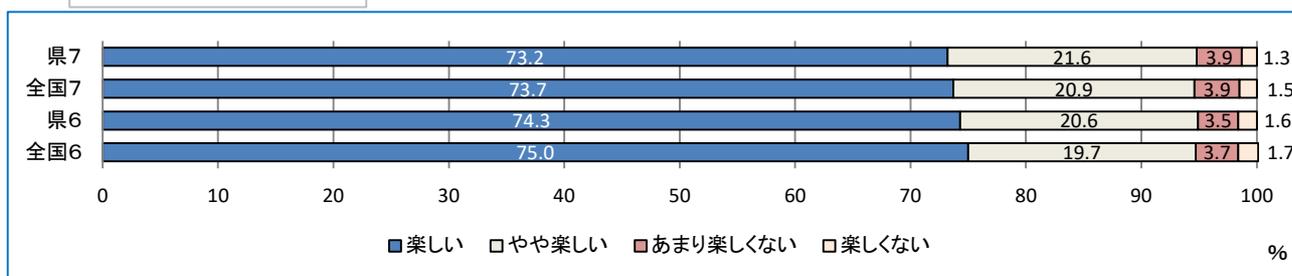
#### 〈現状〉

##### 【中学校】

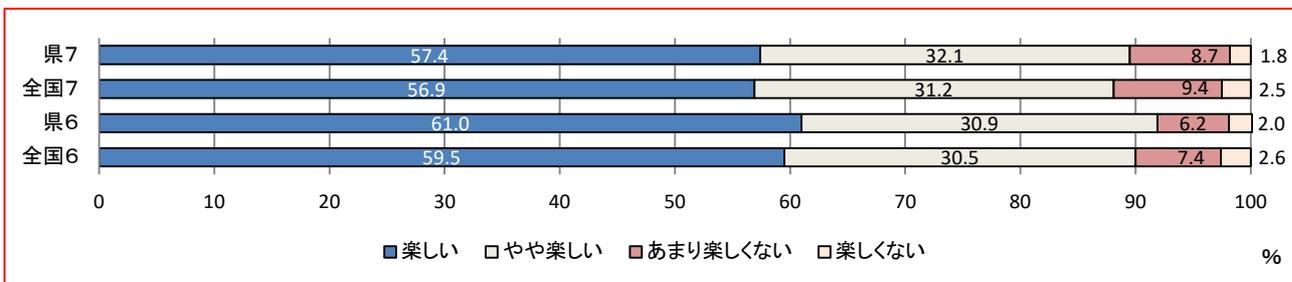
- 全国平均と比較すると、運動やスポーツをすることが「好き」と回答した割合は、男子は1.1%低く、女子は3.0%高い。
- 県の令和6年度平均と比較すると、運動やスポーツをすることが「好き」と回答した割合は、男子は2.3%、女子は1.5%増加した。

## (2) 体育(保健体育)の授業が楽しいか

### ア【小学校】〔男子〕



### 〔女子〕

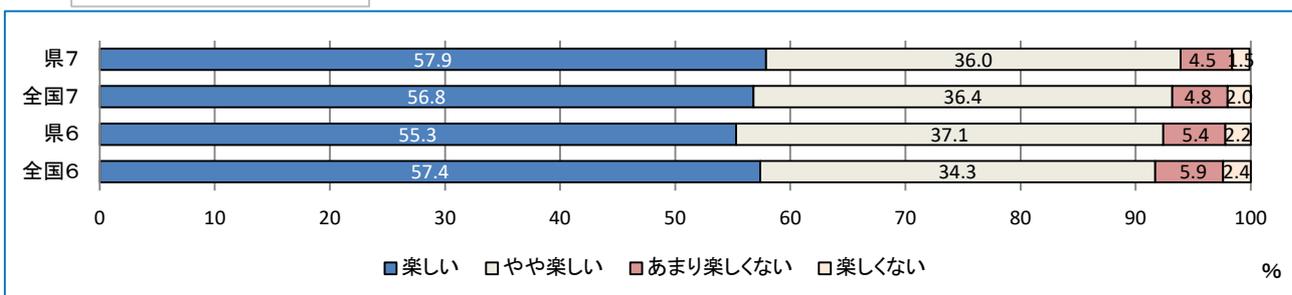


### 〈現状〉

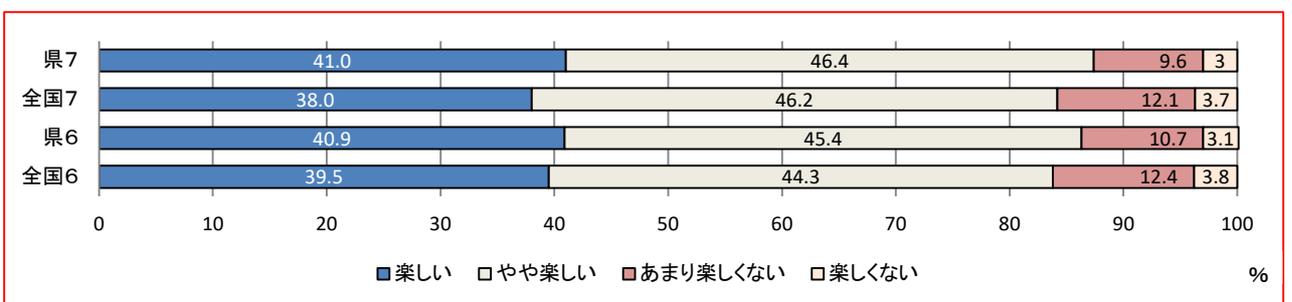
#### 【小学校】

- 全国平均と比較すると、体育の授業が「楽しい」と回答した割合は、男子が0.5%低く、女子は0.5%高い。
- 県の令和6年度平均と比較すると、体育の授業が「楽しい」と回答した割合は、男子が1.1%、女子は3.6%減った。

### ア【中学校】〔男子〕



### 〔女子〕



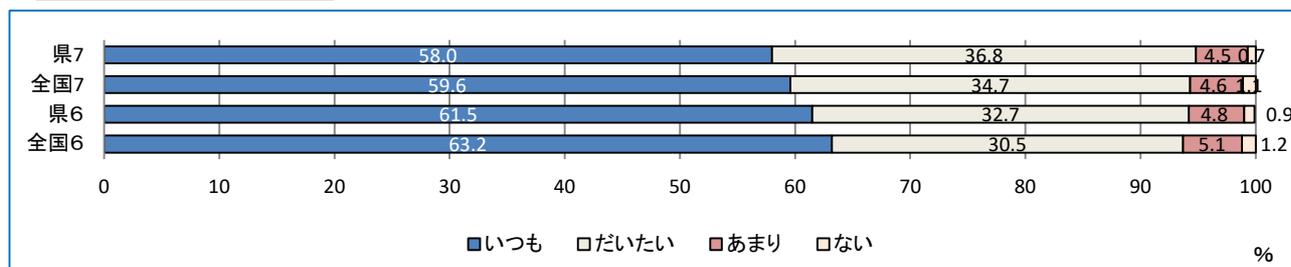
### 〈現状〉

#### 【中学校】

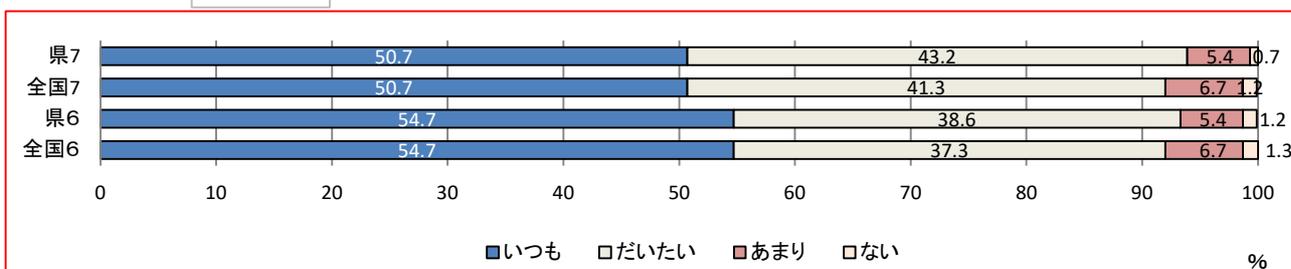
- 全国平均と比較すると、保健体育の授業が「楽しい」と回答した割合は、男子が1.1%、女子が3.0%高い。
- 県の令和6年度平均と比較すると、体育の授業が「楽しい」と回答した割合は、男子が2.6%、女子が0.1%増えた。

(3) 体育の授業に進んで参加しているか。

ア【小学校】〔男子〕



〔女子〕

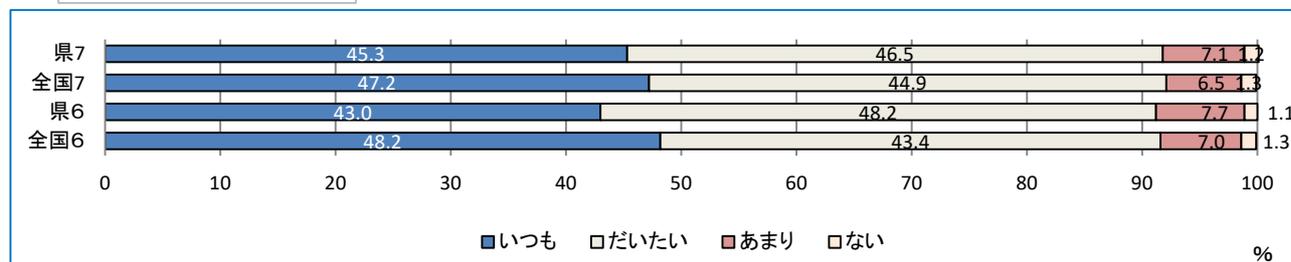


〈現状〉

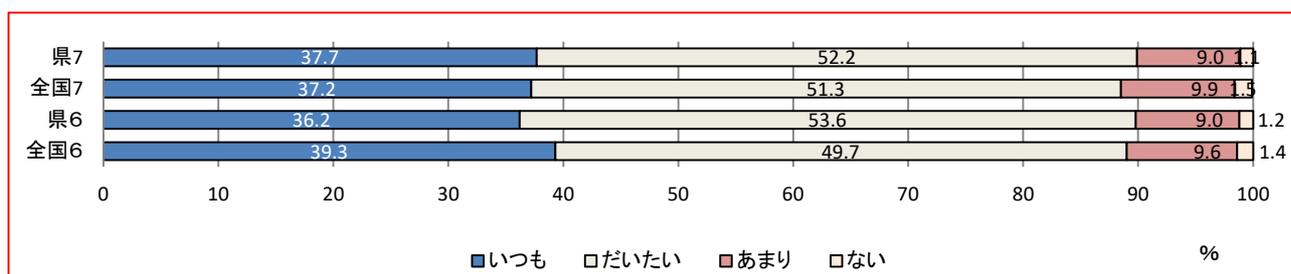
【小学校】

- 全国平均と比較すると、体育の授業に「いつも進んで学習している」と回答した割合は、男子が1.6%低く、女子が変わらない。
- 令和6年度と比較すると、体育の授業に「いつも進んで学習している」と回答した割合は男子が3.5%、女子が4.0%低い。

イ【中学校】〔男子〕



〔女子〕



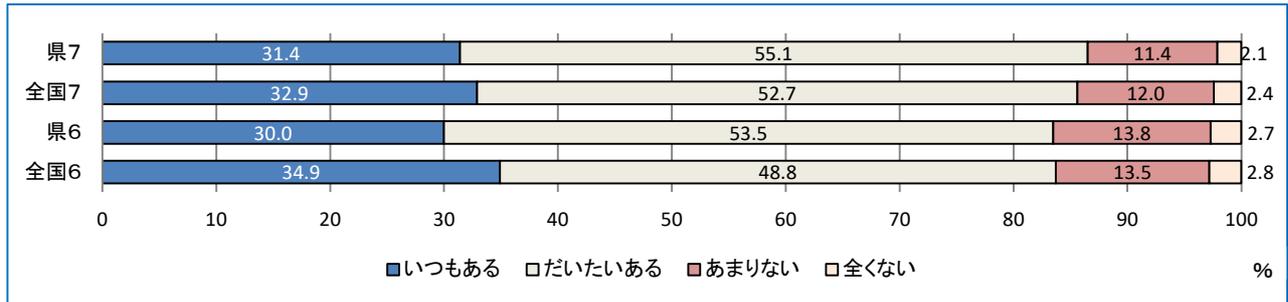
〈現状〉

【中学校】

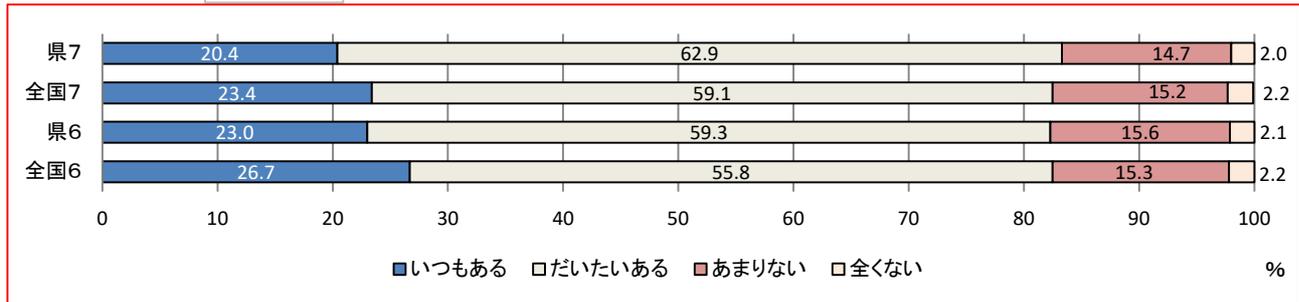
- 全国平均と比較すると、体育の授業に「いつも進んで学習している」と回答した割合は、男子が1.9%低く、女子が0.5%高い。
- 令和6年度と比較すると、体育の授業に「いつも進んで学習している」と回答した割合は、男子は2.3%、女子は1.5%増えた。

(4) 体育の授業で、目標(ねらい・めあて)を意識して学習することで、「できたり・わかったり」することができるか。

ア【小学校】〔男子〕



〔女子〕

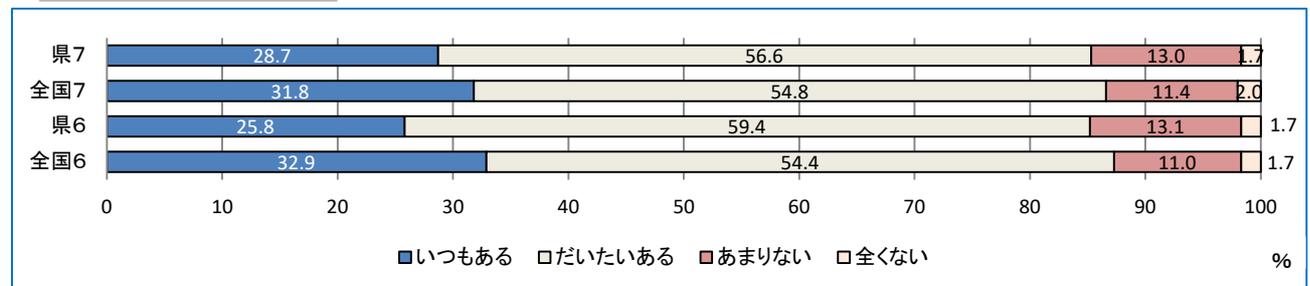


〈現状〉

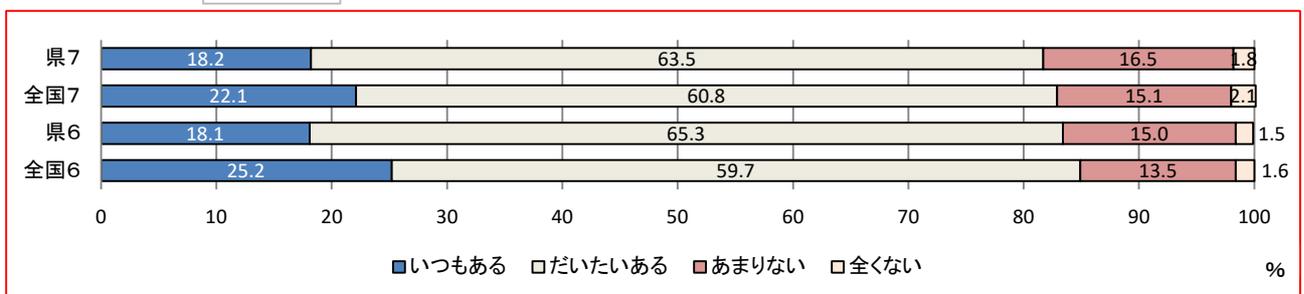
【小学校】

- 全国平均と比較すると、「いつもある」と回答した割合は男子は1.5%、女子は3.0%低い。
- 令和6年度と比較すると、「いつもある」と回答した割合は男子は1.4%高く、女子は2.6%低い。

イ【中学校】〔男子〕



〔女子〕



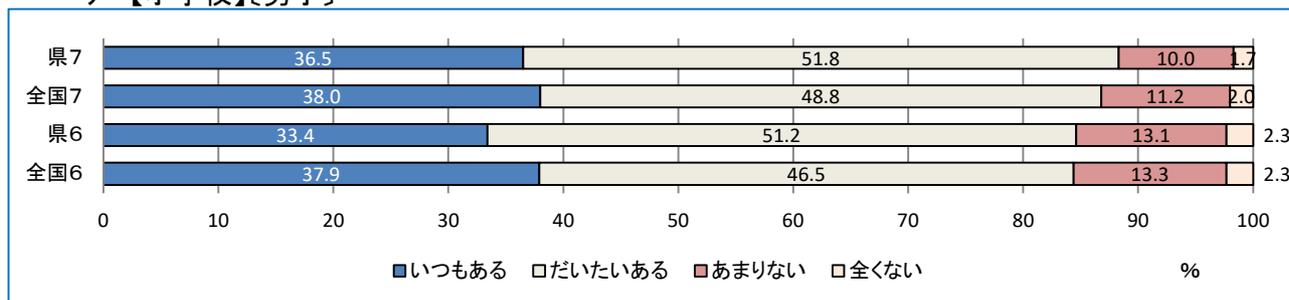
〈現状〉

【中学校】

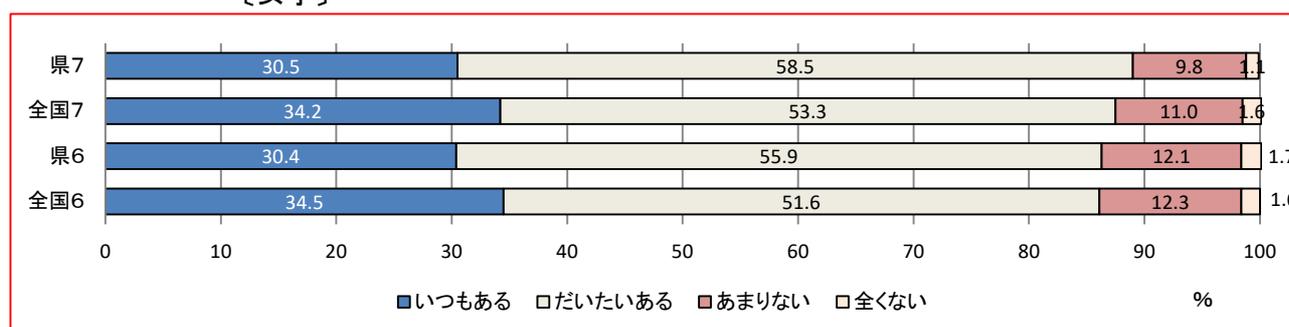
- 全国平均と比較すると、「いつもある」と回答した割合は男子は3.1%、女子は3.9%低い。
- 令和6年度と比較すると、「いつもある」と回答した割合は、男子は2.9%、女子は0.1%増えた。

(5) 体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり・わかったり」することがあるか。

ア【小学校】〔男子〕



〔女子〕

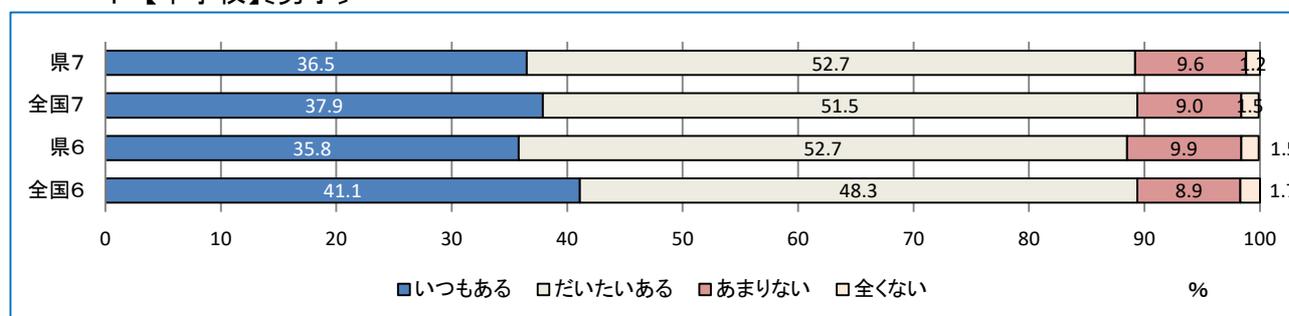


〈現状〉

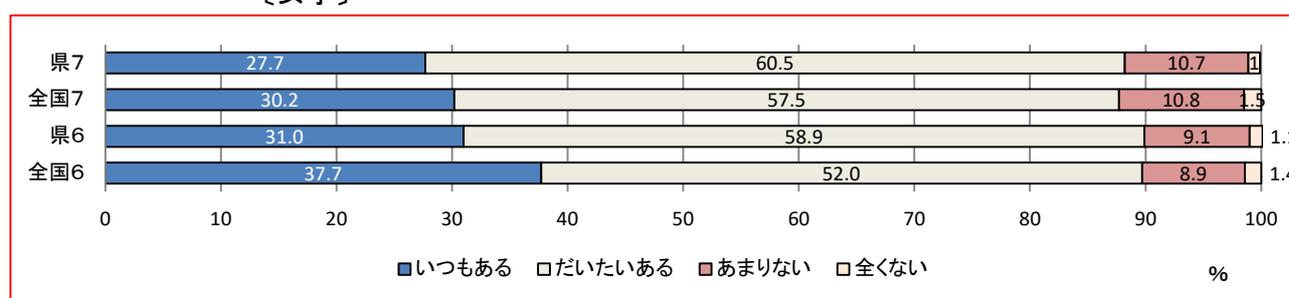
【小学校】

- 全国平均と比較すると、「いつもある」と回答した割合は男子は1.5%、女子は3.7%低い。
- 令和6年度と比較すると、「いつもある」と回答した割合は、男子が3.1%、女子が0.1%増えた。

イ【中学校】〔男子〕



〔女子〕



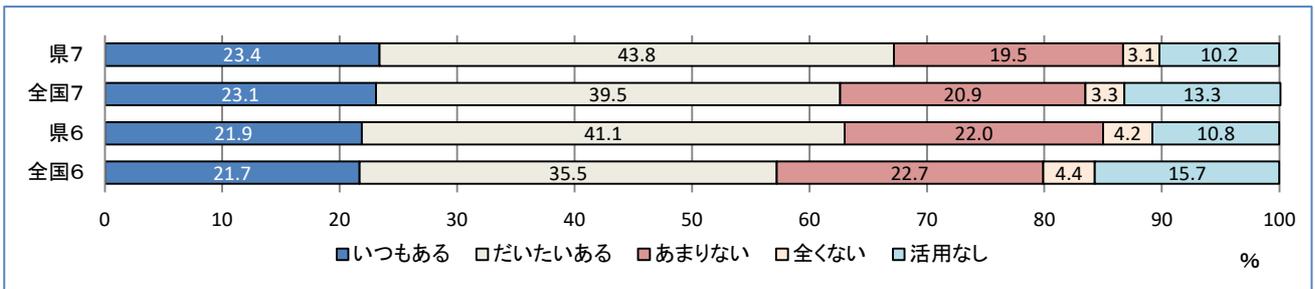
〈現状〉

【中学校】

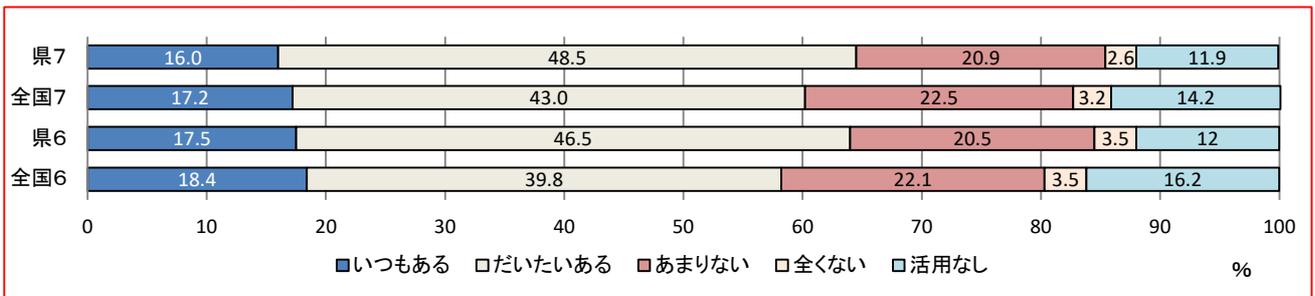
- 全国平均と比較すると、「いつもある」と回答した割合は、男子は1.4%、女子は2.5%低い。
- 令和6年度と比較すると、「いつもある」と回答した割合は、男子が0.7%増え、女子は3.3%減った。

(6) 体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり・わかったり」することがあるか。

ア【小学校】〔男子〕



〔女子〕

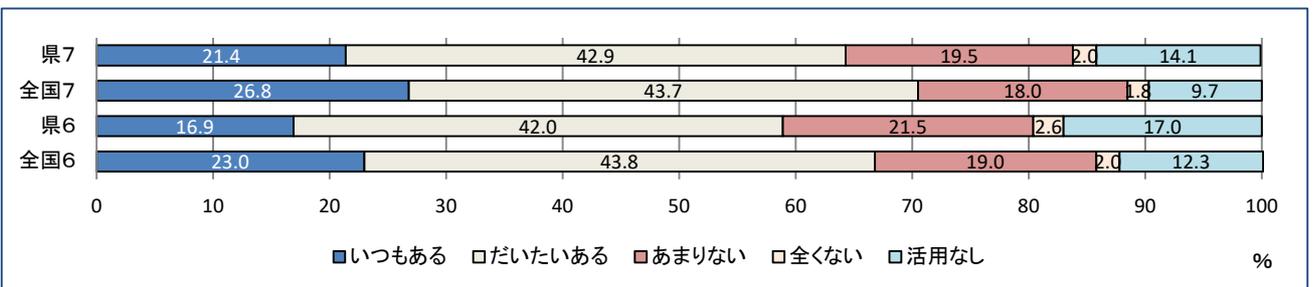


〈現状〉

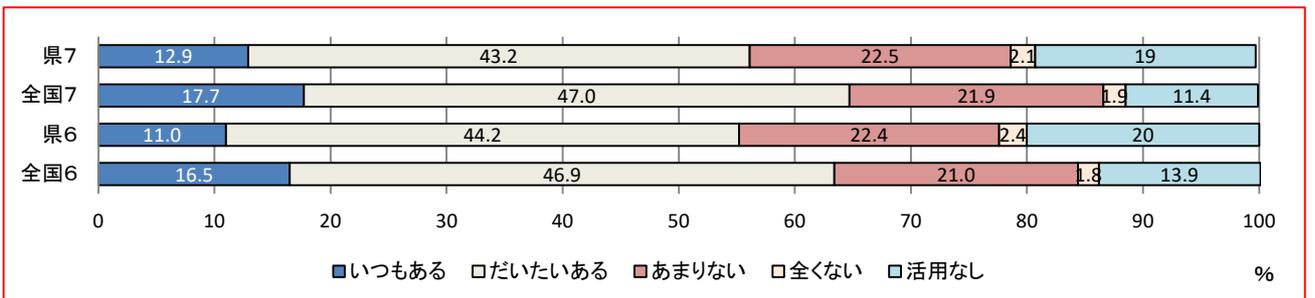
【小学校】

- 全国平均と比較すると、「いつもある」と回答した割合は男子が0.3%高く、女子が1.2%低い。
- 令和6年度と比較すると、「いつもある」と回答した割合は、男子が1.5%増え、女子が1.5%減った。

イ【中学校】〔男子〕



〔女子〕



〈現状〉

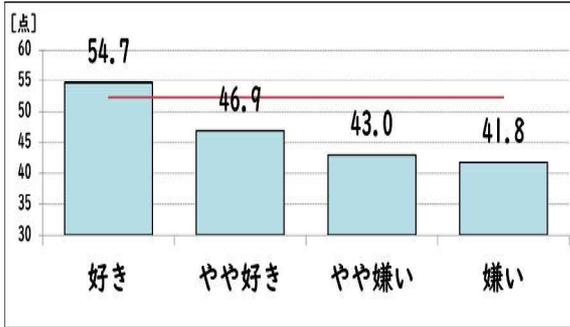
【中学校】

- 全国平均と比較すると、「いつもある」と回答した割合は男子は5.4%、女子は4.8%低い。
- 令和6年度と比較すると、「いつもある」と回答した割合は男子が4.5%、女子が1.9%増えた。

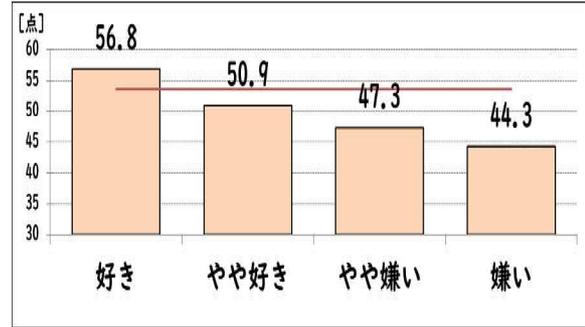
6 児童生徒の回答と体力合計点等とのクロス集計 ※グラフ内横線は県平均値

(1) 「運動やスポーツが好き」と体力合計点

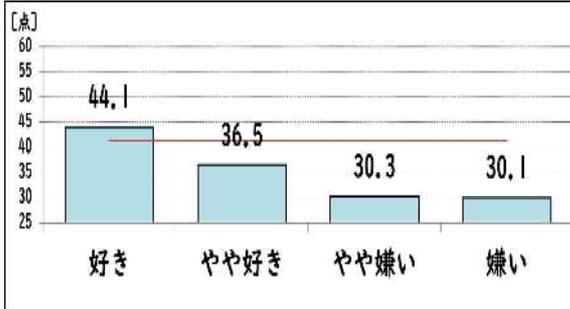
【小学校男子】



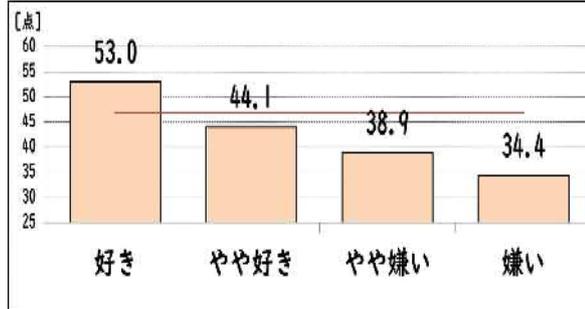
【小学校女子】



【中学校男子】



【中学校女子】

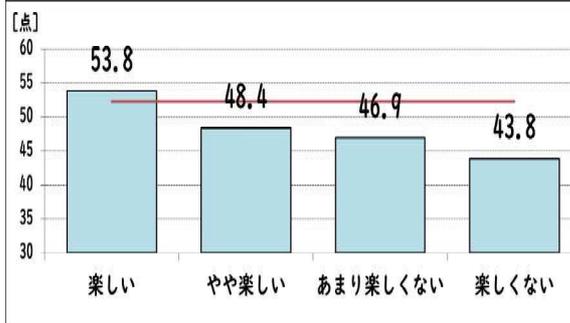


〈現状及び考察〉

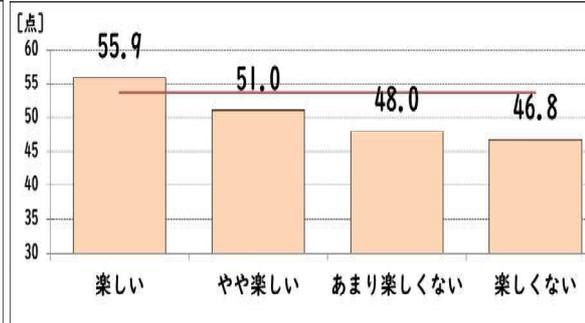
小中学校男女とも「運動が好き」と回答した児童生徒の体力合計点は高く、「運動が嫌い」と回答した児童生徒の体力合計点は低くなっている。

(2) 「体育・保健体育の授業が楽しい」と体力合計点

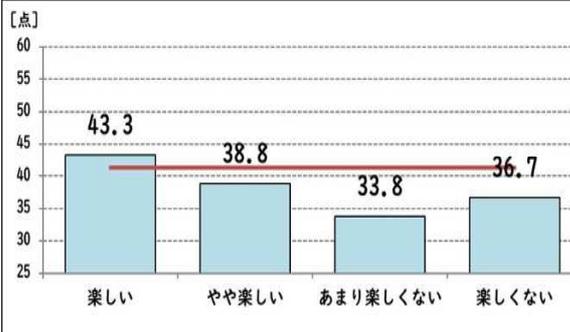
【小学校男子】



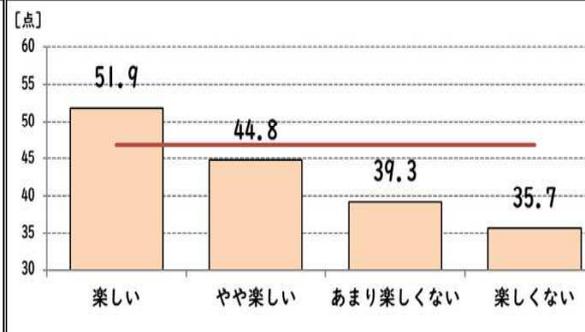
【小学校女子】



【中学校男子】



【中学校女子】

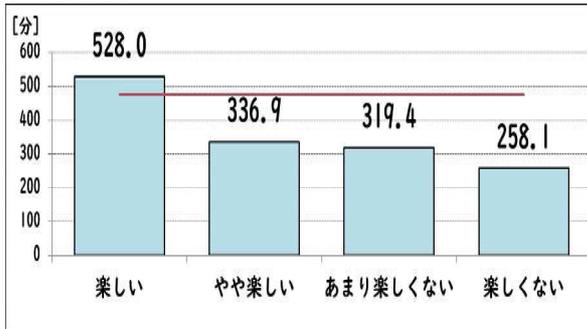


〈現状及び考察〉

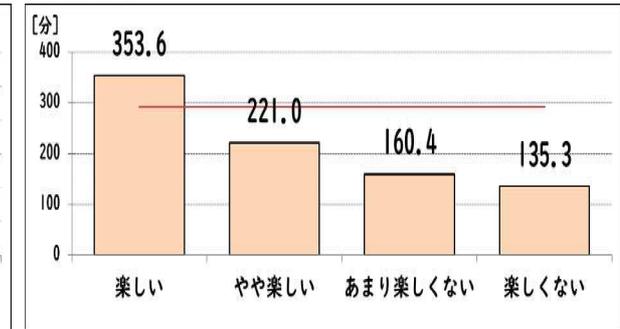
小中学校男女とも「体育・保健体育の授業が楽しい」と回答した児童生徒の体力合計点は高く、「体育・保健体育の授業が楽しくない」と回答した児童生徒の体力合計点は低くなっている。

(3) 「体育・保健体育の授業が楽しい」と1週間の総運動時間

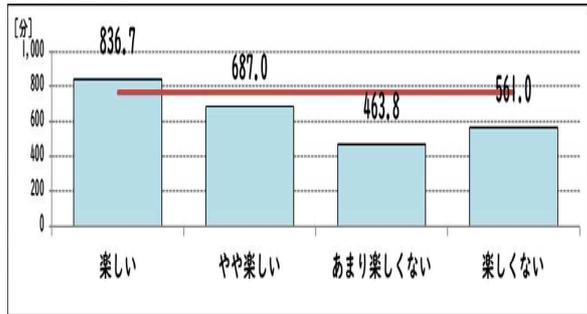
【小学校男子】



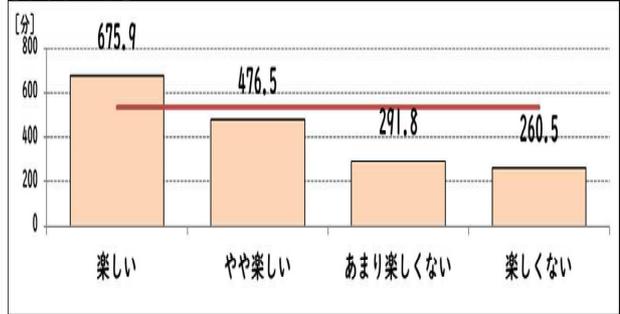
【小学校女子】



【中学校男子】



【中学校女子】

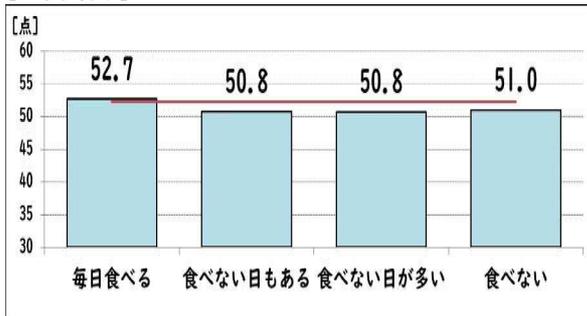


〈現状及び考察〉

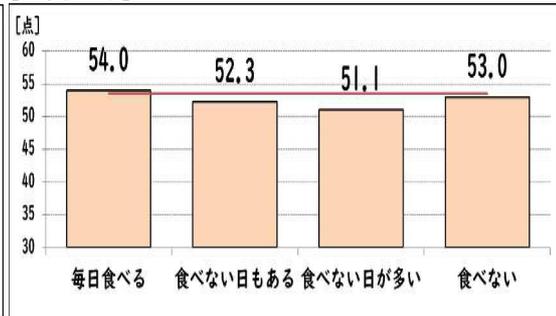
小中学校男女とも「体育・保健体育の授業が楽しい」と回答している児童生徒の1週間の総運動時間は、「体育の授業が楽しくない」と回答している児童生徒より長くなっている。

(4) 「朝食を食べる」と体力合計点

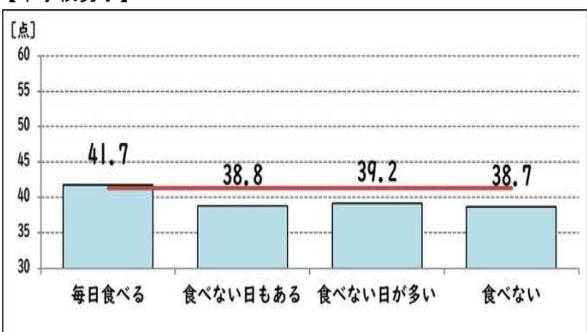
【小学校男子】



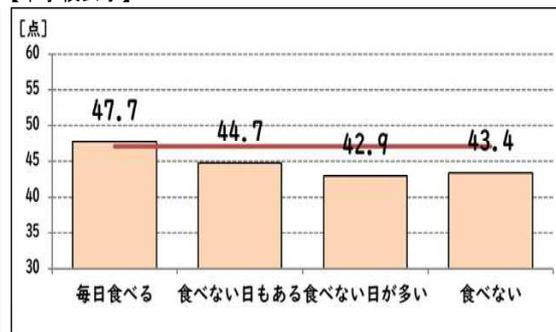
【小学校女子】



【中学校男子】



【中学校女子】

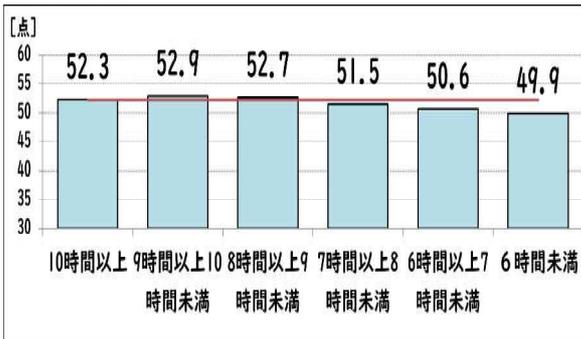


〈現状及び考察〉

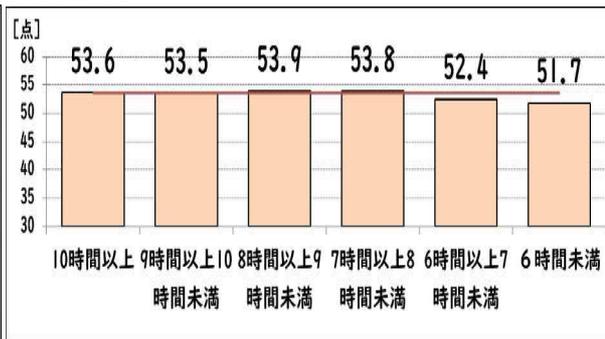
小中学校男女とも朝食を「毎日食べる」と回答している児童生徒の体力合計点は、朝食を「食べない日もある」、「食べない日が多い」「食べない」と回答している児童生徒と比べると高くなっている。

(5) 「睡眠時間」と体力合計点

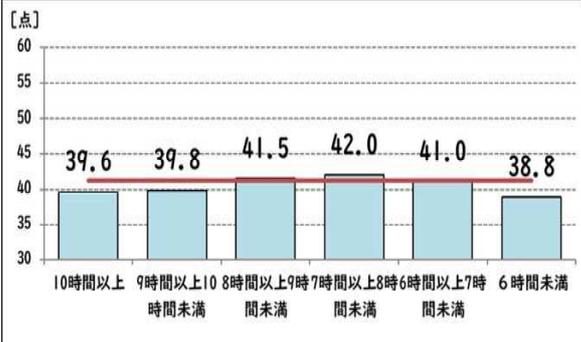
【小学校男子】



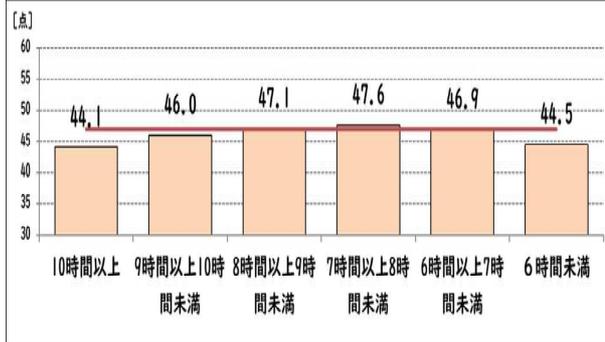
【小学校女子】



【中学校男子】



【中学校女子】

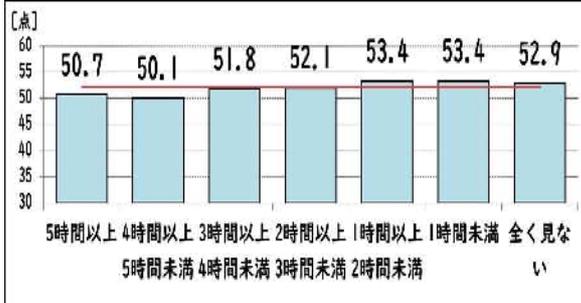


〈現状及び考察〉

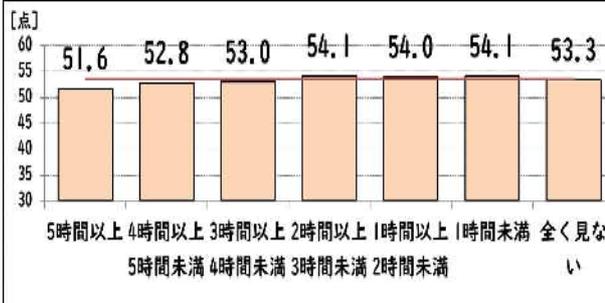
小学校男女とも睡眠時間が「7時間未満」の児童の体力合計点は、睡眠時間が「7時間以上」の児童と比べると低い傾向にある。中学校男女とも睡眠時間が「6時間未満」や「9時間以上」の生徒の体力合計点は、睡眠時間が「6時間以上9時間未満」の生徒と比べると低い傾向にある。

(6) 「平日のスクリーンタイム」と体力合計点

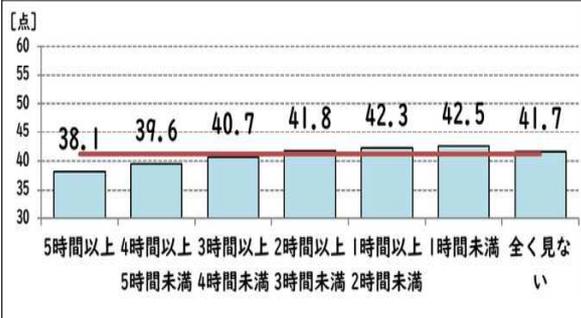
【小学校男子】



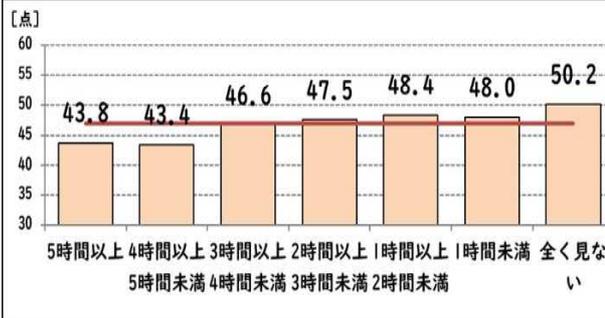
【小学校女子】



【中学校男子】



【中学校女子】



〈現状及び考察〉

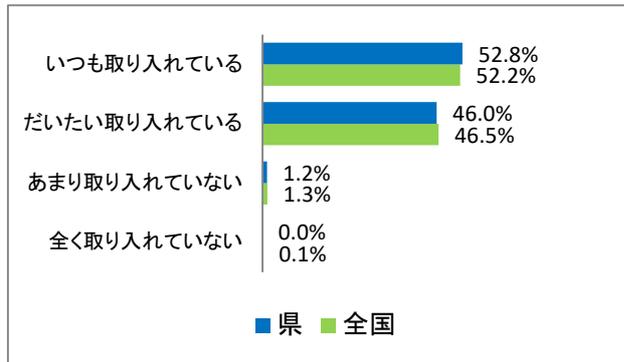
小中学校男女とも「平日のスクリーンタイム」が長くなるほど、体力合計点が低くなっている。

## 7 学校質問紙から

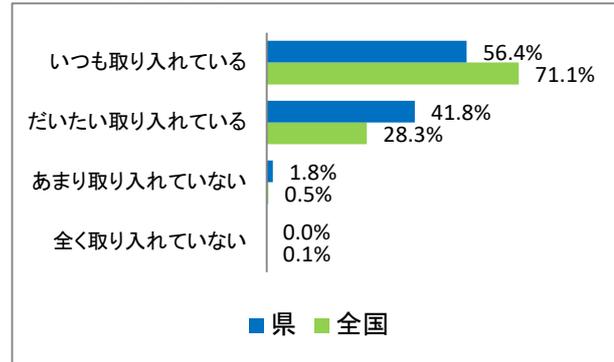
※ 全国の数値は公立

### (1) 体育・保健体育授業での目標(めあて・ねらい等)の提示

【小学校】

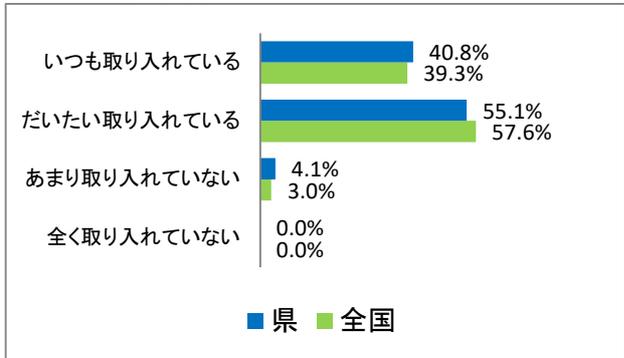


【中学校】

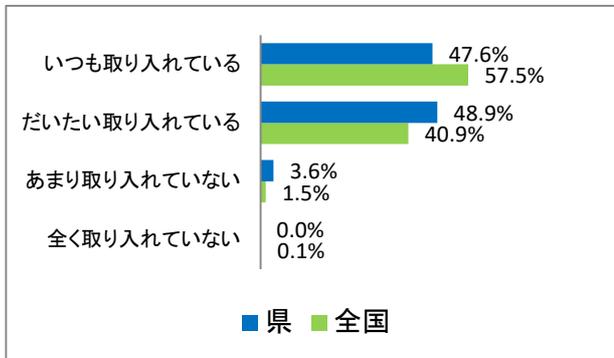


### (2) 体育・保健体育授業での振り返りの活動の設定

【小学校】



【中学校】

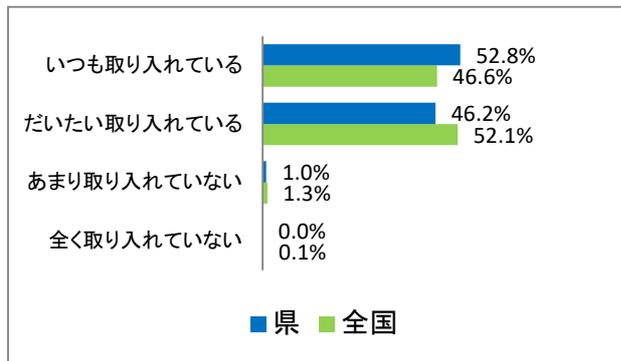


#### 〈現状及び考察〉

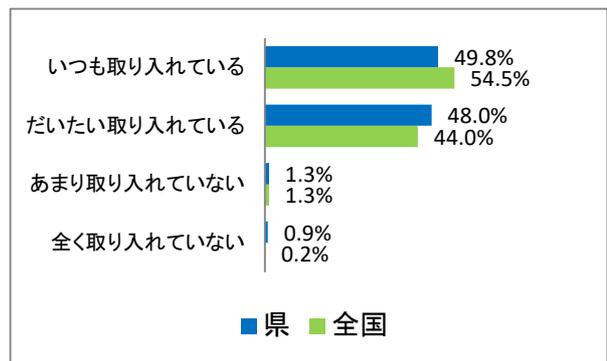
- 体育・保健体育の授業において、目標(めあて、ねらい等)の提示を「いつも取り入れている」と回答した割合は、全国平均と比較して小学校は0.6%高く、中学校は14.7%低い。
- 体育・保健体育の授業において、振り返りの活動を「いつも取り入れている」と回答した割合は、全国平均と比較して小学校は1.5%高く、中学校は9.9%低い。

(3) 体育・保健体育授業で、児童生徒が助け合ったり役割を果たしたりする活動の設定

【小学校】

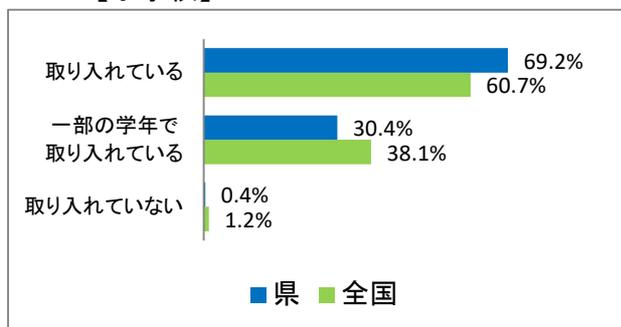


【中学校】

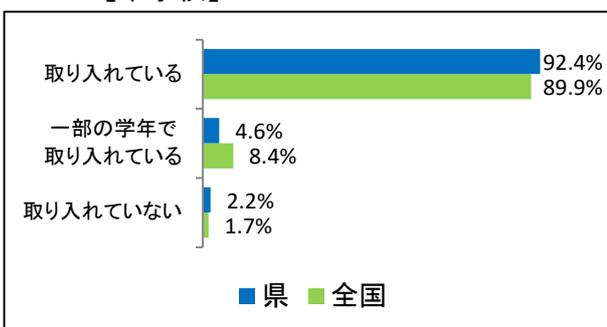


(4) 体育・保健体育授業で、児童生徒が話し合う活動の設定

【小学校】

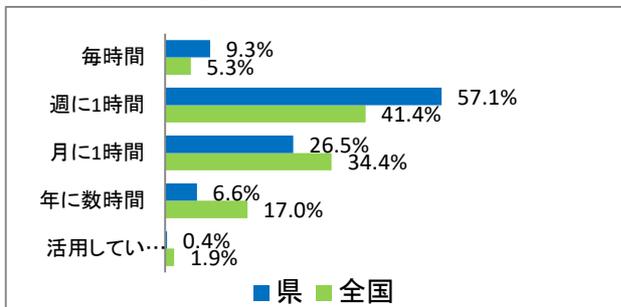


【中学校】

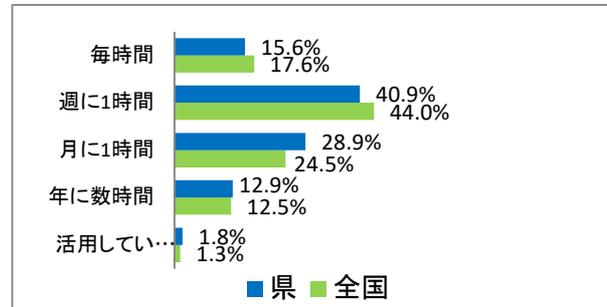


(5) 体育・保健体育授業でのICTの活用

【小学校】



【中学校】

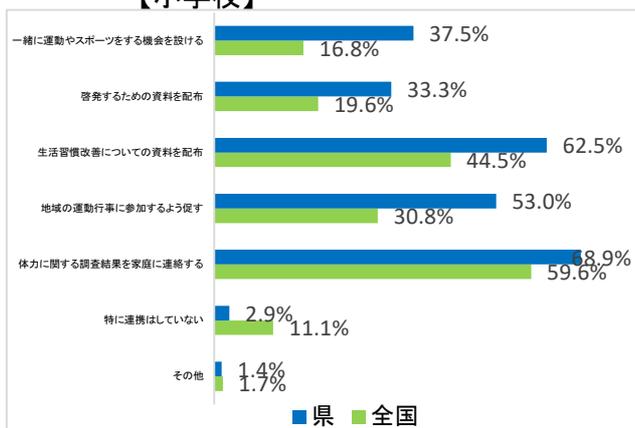


〈現状及び考察〉

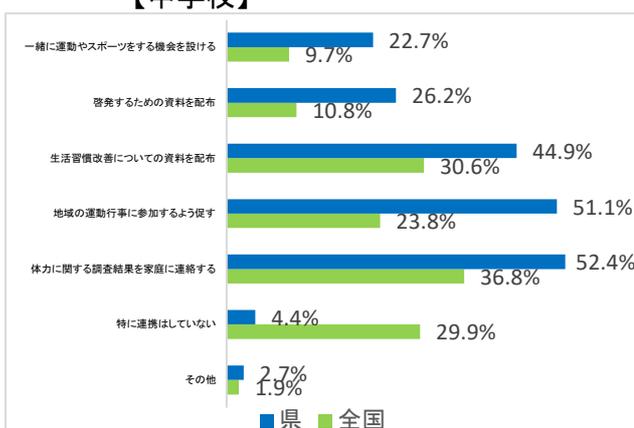
- 体育・保健体育の授業において、児童生徒が助け合ったり役割を果たしたりする活動を「いつも取り入れている」と回答した割合は、全国平均と比較して小学校は6.2%高く、中学校は4.7%低い。
- 授業で児童生徒が話し合う活動を「取り入れている」と回答した割合は、全国平均と比較して小学校は8.5%、中学校は2.5%高い。
- 授業において、ICTを「毎時間活用している」と回答した学校の割合は、全国平均と比較して、小学校は、4.0%高く、中学校は、2.0%低い状況である。

(6) 家庭との連携について(複数回答可)

【小学校】

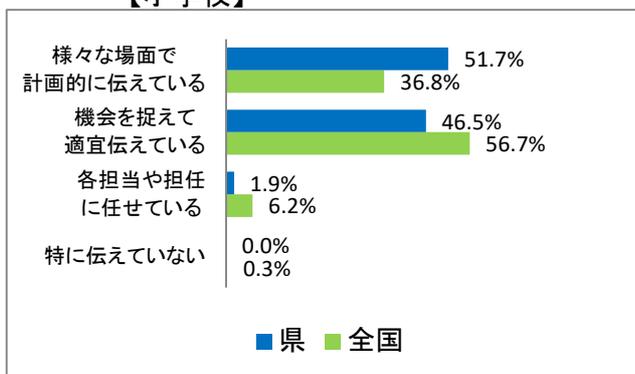


【中学校】

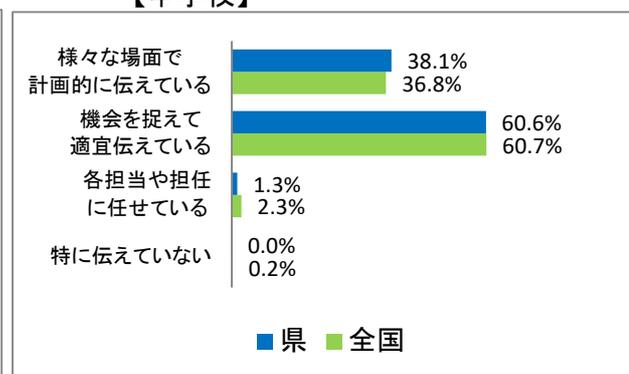


(7) 健康三原則(運動, 食事, 休養及び睡眠)の大切さについての児童生徒への伝達

【小学校】



【中学校】

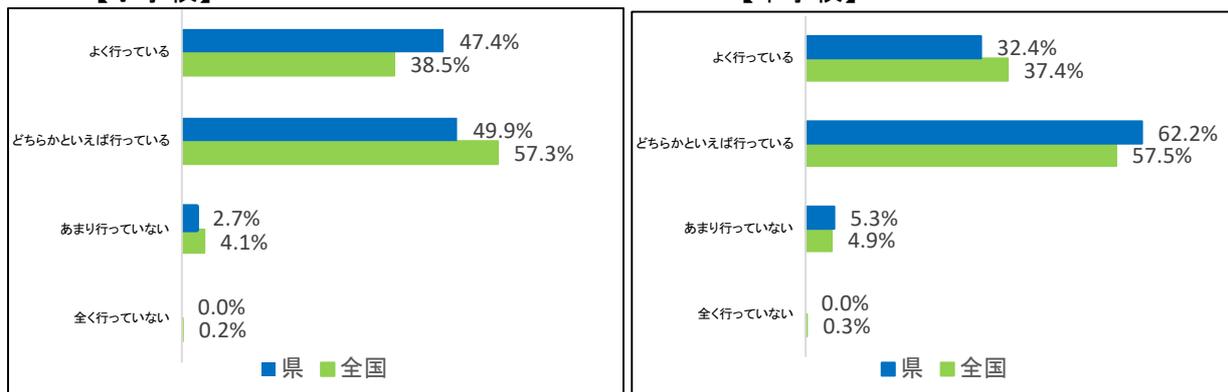


〈現状及び考察〉

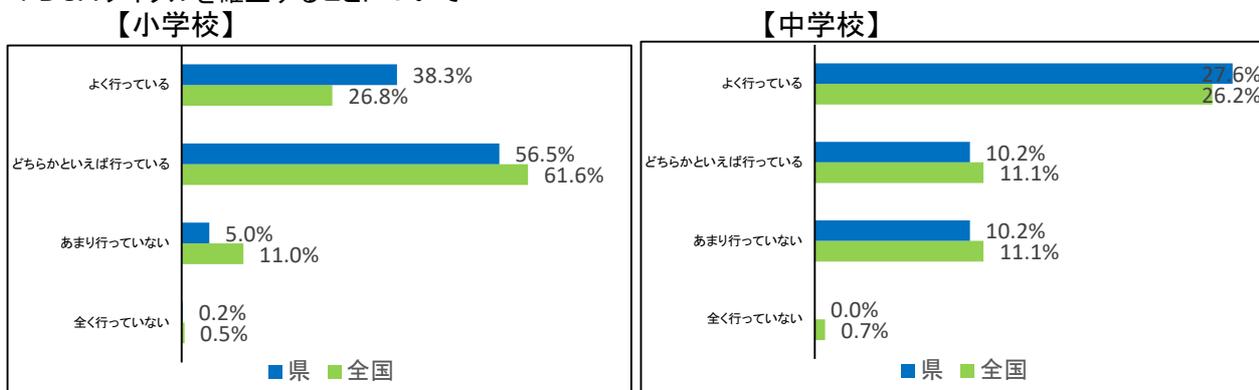
- 運動やスポーツ, 児童生徒の体力に係る家庭との連携については, 「一緒に運動やスポーツをする機会を設ける」や「生活習慣改善についての資料を配布」等の全ての項目で全国を上回っている。
- 健康三原則の大切さを「様々な場面で計画的に伝えている」と回答した割合を全国平均と比較すると, 小学校は14.9%高く, 中学校は1.3%高い。

(8) 児童生徒の体力・運動能力の向上のための取組について

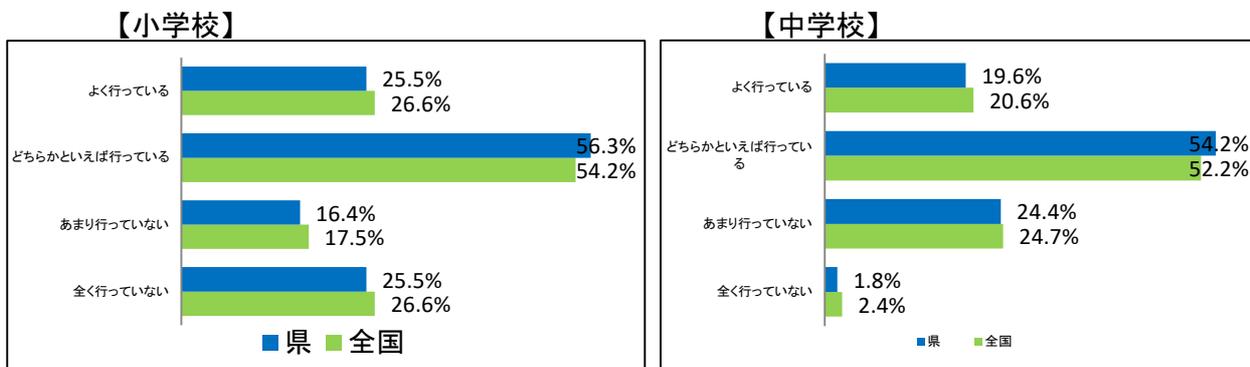
- 学校の教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で、必要な教育内容を組織的に配列することについて



- 児童生徒の体力の現状に関する調査や各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図るPDCAサイクルを確立することについて



- 教育内容と教育活動の実施に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること

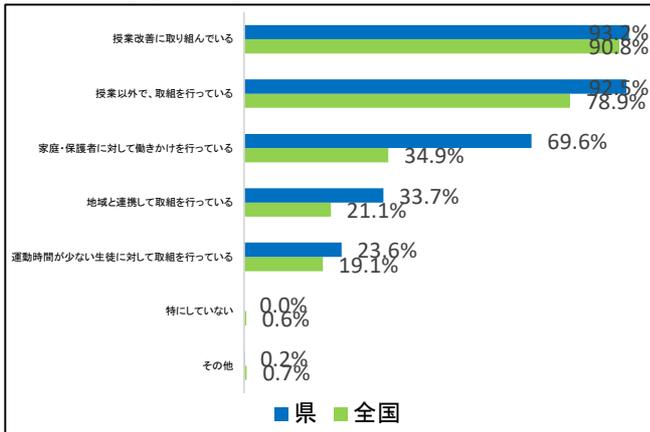


〈現状及び考察〉

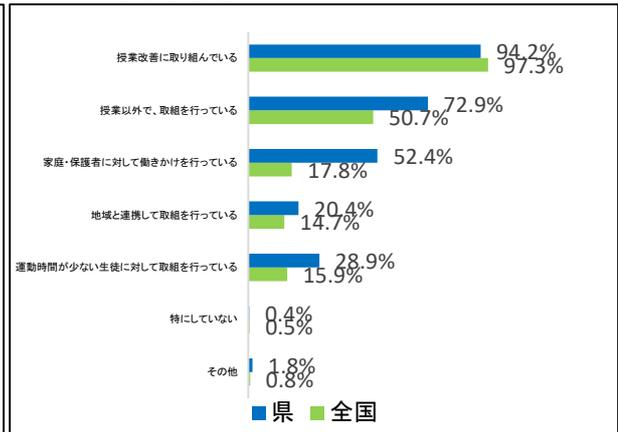
- 児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組について「学校の教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で、必要な教育内容を組織的に配列することについて」は、「よく行っている」と回答した割合は、全国平均と比較して、小学校は、8.9%高く、中学校は、5.0%低い。
- 「児童生徒の体力の現状に関する調査や各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図るPDCAサイクルを確立することについて」は、「よく行っている」と回答した割合は、全国平均と比較して、小学校は、11.5%、中学校は、1.3%高い。
- 「教育内容と教育活動の実施に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせることについて」は、「よく行っている」と回答した割合は、全国平均と比較して、小学校は、1.2%、中学校は、1.1%低い。

(9) 児童生徒が主体的に体力向上に取り組むための取組について(複数回答可)

【小学校】

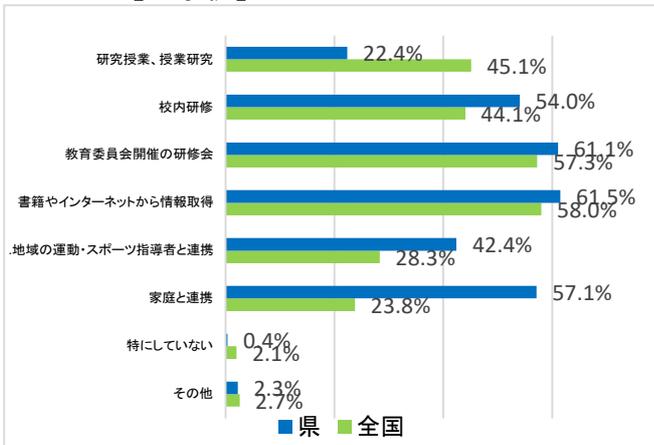


【中学校】

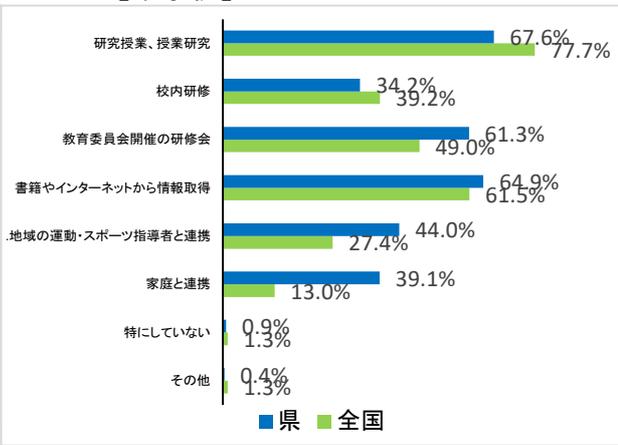


(10) 教師が児童生徒の体力向上や体育授業の充実を図る取組(複数回答可)

【小学校】



【中学校】



〈現状及び考察〉

- 児童生徒が主体的に体力向上に取り組むための取組については、中学校の「授業改善に取り組んでいる」以外については、全国平均を上回っている。
- 教師が児童生徒の体力向上や体育授業の充実を図る取組については、小学校の「研究授業、授業研究」、中学校の「研究授業、授業研究」や「校内研修」が全国平均を下回っていた。

## 《今後の方向性「運動大好き“かごしまっ子”の更なる育成」》

### ◆ 体育・保健体育の授業の充実

学習指導要領の趣旨を踏まえ、小学校、中学校、高等学校を通じて、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現・継続する資質・能力を育成することを重視する観点から、児童生徒に「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を育成する取組を具体的に進める。

体力向上や運動習慣形成の核となるのは、**体育・保健体育の授業の充実**である。本県の児童生徒は、運動への興味・関心や体育・保健体育の授業に対する意識は低くないことから、各学校においては、教師が児童生徒の実態を把握し、授業改善を図っていくことで、運動の楽しさや喜びを味わい、運動や体育・保健体育の授業に対する意識が高まっていくと考えられる。そのため、次のポイントに留意する必要がある。

- 系統性を踏まえて、単元で育成を目指す資質・能力の3つの柱を明確にする。
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現を図るための個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。
- 単元展開のストーリーを踏まえた指導と評価計画を作成する。
- 誰もが楽しんで取り組める運動教材の設定や場の設定を行う。
- 体育・保健体育を学ぶ意義や価値を実感できるようにする。

単元の指導と評価計画を基にしながら、単位時間では、以下のことを留意する。

- 本時の運動につながる感覚づくりや自校の実技種目の課題を解決するための運動を取り入れた準備運動、補助運動を実施する。
  - 1 本時のめあて(全体・個人)を確認する。
    - ・「自分(チーム)の動き」と「目指す動き」を比較して課題を明確にし、めあてを設定させる。
    - ・ICTを活用して「自分(チーム)の動き」と「目指す動き」の動画を提示する。
  - 2 友達と学び合いながら課題解決に取り組む。
    - ・課題に応じた練習方法を選択し、同じ課題をもった友達と動きを見合い、アドバイスしながら課題解決を行う。
    - ・動きを見る視点を明確にする。
    - ・ICTを活用して、動きを撮影して確認させる。
  - 3 本時のめあてに対する振り返りを行い、次時の課題を明確にする。
    - ・「わかったこと・できるようになった」学習の成果を確認させる。
    - ・ICTを活用して、本時に高まった動きや次時の課題となる動きを提示する。
    - ・「わかったり、できるようになったり」要因を確認させる。
    - ・次時の課題を確認させる。

このような授業を通して、**全ての子どもが運動の楽しさや喜びを味わい、その結果として体力の向上や運動習慣の形成**につながる指導の在り方について改善を図るとともに、自己の適性に応じて「**する・みる・支える・知る**」の**多様な関わり方**と関連付けることで「運動好きな子ども」を育てることを目指す。

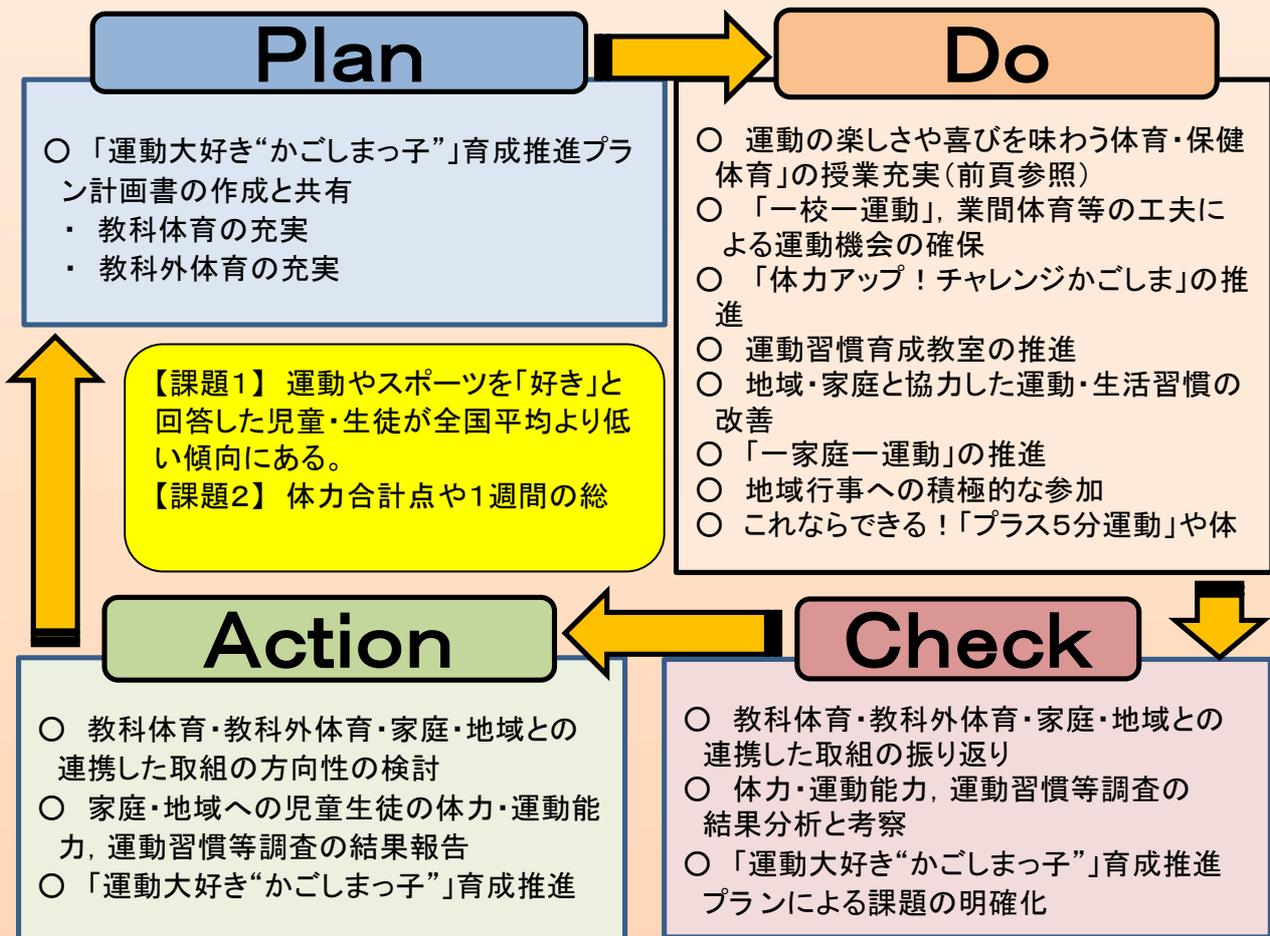
また、体育・健康に関する指導については、子どもの発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した指導の充実を図る。

さらに、子どもの体力向上や運動習慣の形成に関して、家庭への啓発を行い、理解と協力を求めたり、関係機関と連携し、外部指導者を活用したりするなど、**学校・家庭・地域が連携し、一体となった取組**を推進する。



子どもが運動の楽しさや喜びを味わうことができるような体育・保健体育の授業を目指しましょう！

◆ 運動大好き“かごしまっ子”育成推進プランを活用したPDCAサイクル



◆ 運動大好き“かごしまっ子”育成に向けた運動の楽しさや喜びを味わう体育・保健体育の授業, 体育指導の工夫改善に向けた取組

- 「運動好きな子どもを育てる」指導者研修会の実施
- 小学校教諭等体育セミナーの開催(隔年)
- 武道・ダンス指導者研修会
- 中学校柔道授業における安全に関する指導者研修会
- 運動大好き“かごしまっ子”育成推進校(小学校5校, 中学校3校, 高等学校1校)による実践的研究及び第5・6期推進校(小学校3校, 中学校2校)による研究公開
- 運動大好き“かごしまっ子”育成推進校(小学校5校, 中学校3校, 高等学校1校)への地域スポーツ人材の派遣
- かごしまの子ども体力向上プログラム(小学校版, 中・高等学校版)の活用促進

◆ 運動大好き“かごしまっ子”育成に向けた学校・家庭・地域が一体となった取組

- 体力の向上, 運動習慣の育成に向けた啓発資料の活用促進  
(これならできる! 「プラス5分運動」)
- 一家庭一運動の推進や地域行事への積極的な参加の啓発
- 地域スポーツ人材を活用した運動習慣育成教室の実施
- 運動大好き“かごしまっ子”育成推進校(第5期)研究公開による普及啓発
- 「運動大好き“かごしまっ子”育成推進フォーラムの開催(隔年)
- 関係機関(県総合体育センター, 県教育庁社会教育課等)と連携したイベント

◆ 目的や課題意識を明確にして体力向上を図る児童・生徒の育成を支援する取組

- 全国体力・運動能力, 運動習慣等調査結果の分析と活用促進
- 体力ナビの積極的活用と児童生徒一人一人への体力カードの作成による課題や課題を解決する運動の選定
- 「新体力テストで児童生徒のもっている力を引き出す指導のポイント(改訂版)」の活用促進